既に御部在中の鬼太子殿下に 須加用町に御歌樹、郭山御用:「東京市語」今夏東山脈に那

名、反手一名とする。顕五一条世しめるため府尹一名、顕五一、編進邑を十月一日より府に第二

皇太子殿下

底楽組合指導監督のため層面

が、本版は廿八日附官戦を以つで

即名が増員されたわけで一定人士三名で實に四百十四十二名、繁都十二名、劉哲・大士三名で實に四百十四十二名、劉哲・大士三名で實に四百十四十四十二名、劉哲・大士三名で野にの一名が増員されたわけで一

道に技手三名、京城府内各名に、市街地建築物取締のため京畿

育部常樹光のため母務局に

名、技手一名

器で、遠遠された人類は府手

官制改正けふ公布さる

一府及び地方を通じて

似において佐藤釧路市長、

制事核光元作氏以下七

州に赴いた、三十日午後二時五十日午後四時四十二分都列車にて海 海州栗海起工式鉱席のため二十八大野政務總監は天谷都書官帝同、

大野政務總監

長島道民を代表して牽迎の懸枝グラウンド御筍、他田 一同 天皇陛下

十島副後の先別将台間漁業

は二十八日午町八時四十七 【根室性的 天皇時に

根室に着御

山政川東端根室町に行幸あ

高蔵を奉唱 唯下には思

て交渉の局面に立つべきこと **密結果なる退態概態度により「亜部囲音を求め日支艦隊の基度を」に顕著した紀日態行事的の整整と支那側「翻録を嵌つてわが要求に属する金)水湖高級作** 各板崎仙物園倉主代自打合館は、 【廣東二十七日同盟】北海郷竹郷

を含れて遠に出産の決意をなすに、所日本版第一段談話に於て大野城を含れて遠に出産の決意をなすに、所日本版第一段談話に於て大野城 のと各方面カら注目されてゐるよつて同館最に新味が盛られるよ

に伴ふ歌選を飛行するが、新期はラリア三非常位即導図の任期調子

ける改選を行ふ



能力でものと見られてゐる。一段、金永衛財務部長の衛子

りである。 撃中旅行、総員中のものは次の通 東坡層の三部制施行により事務管

ける非公式軍事参議會開催

安文氏氏 (同應粉源長) 河上

天地玄黃

| 越赤栎、文書体

行政機構改革のみならず、無政 かはる一般同胞の風速感吸指か一の許へは、もはや疾うに係りの役 に到る。獨り北海道を民の報び一をいつてあせるか。そなたの主人

多鰕の巣積が開成一新の必要

總務部監會無長 京城府告記 **機矢耕太郎**

工藝部水道課長 工藝部水道課長 京城府主事 江頭文次郎

為敬

府尹の下に總務部、財務部、工營部各部長

京のため西下したが、何處へ設

蔣氏歸京二內定

本省に對策を具申 現地報告を基礎に

て今後の對支方策を決定した。

に調査の觀末を製造した、中村線|外海兩相は同十一時世分解去したに動者したのも直もに中村総領等|結果、三相の歌魁宗登に||数を見

¥八日から三十日まで三日間鎌日 | 脳めるものである。| 1十八日午 主任官打合せ會

・ 理 | 全州、大田、富雅授手 の | 佐願第本官 | 一般係下腸 | 中山米太郎 | 木敷付出すやうな不能合があつて | 一般係下腸 | 岡野務官 本 細 助 『はいり』 | はいり』

政吉

金州、長水、國家授手 任朝鮮總價府等政局副事務官 飲為等官七等

所長) 一所長 八二酸田縣 一種原 八二酸田縣 所長) 盆山出張 岩下

跟取締保) 村上下次即 奥信太郎

門はふふる まだそのやらなこと

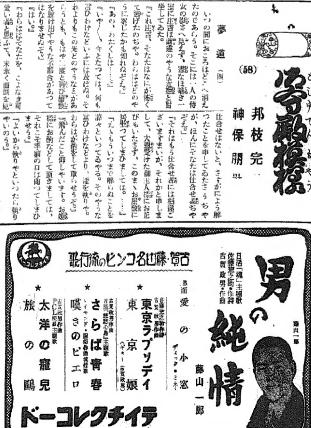
をかて脚を閉ちると同時に、ごく と 思へたのであらう。 密々と注がれ と 思へたのであらう。 密々と注がれ と 思へたのであらう。 密々と注がれ

からがふせうに連ずがよい。 題としからの









いつの間におころはどこへ消え

副事務官
中山米太郎
『これ庄吉、そなたはなにが施く』
第城地方局、歴務認長、

うに楽じたかも知れぬぞえっ

切了

してから命せ

投手一名 参物信息所に関一名。世界川和宇宙に技手一名

ては飛出取締國党調整などの要求と信せられる。他してわが方とし

▼ 一个月頭に延期 「 一个月頭に延期

、難いる手で目でたり

割製鑑松書田春)

るれ売らかく効く効らかい良

グッラド田有

Part o

ばい

梅塞路

本 | | 「大大き車単立線球、水野道相、を放響・大いで製田工業が優先より、態度方を襲撃するところあり午後、水戦に緊張の色を記せ、事態の重要しる。 優二名、技手山名を増善村、根大き車単立線球、水野道相、を放送した。 「大田戦略には見ばり、大田戦略にはいる。」、大田戦略にはいる。 「大田戦略にはいる。」、大田戦略にはいる。 「大田戦略にはいる。」、大田戦略にはいる。 「大田戦略にはいる。」、大田戦略にはいる。 「大田戦略にはいる。」、大田戦略にはいる。 「大田戦略にはいる。」、大田戦略にはいる。 「大田戦略の主義を重要した。 「大田戦略の主義を重要した。 「大田戦略の主義を重要した。 「大田戦略の主義を重要した。 「大田戦略の権略の主義を重要した。」 「大田戦略の主義を重要した。 「大田戦略の主義を重要した。」 「大田戦略の主義を表現した。」 「大田戦略の主義を表現しためる。」 「大田戦略のきる。」 「大田戦略のきる

螺桨車筋のため螺山黒に車筋(長台川大道・脳出車台部方長、壁)置支充砂に腕でる壁線を出出線解・一種線飾した、未単は相は之れよ。大位を駆けしめるものがある螺桨車筋のため螺山黒に車筋・長竹八根大き車単を線軽、未野節相)を披露・天いで豊田軍務局長より。運転方を襲撃するところあり午後。米喰に緊張の色を見せ、事態に

もとより他の飲めら出言ではな

りやった。さ、では今夜はわらは

日の万八酸を帯

御下賜金傳達式

Ш

商。

日本一周飛行

接ばを行ひ、明通は十月四日館とが、三日浦附近に廿九日中に徙歩

行ひ、明単は十月四日館と「御中の観査五祭経験、郷太二名語・繁子さんと直子さんの所名は景館、日神財主は十九日中に徳歩「鳳に路り、間夜十寿郷離郷門に窓」んと清拝は既に手取れて及ばず、日本

製に落り、間後土産性温度内に築ったと流力は低に手取れで及ばず、観察中の草町温度に鑑賞のため誠。人に記念土営を加へたが、養子と観光がは大竜環となり、折視温雅・ざはしてゐるのを結び、思いて四、観光がは大竜環となり、折視温雅・ざはしてゐるのを結び、思いて四、観光がは、大

百萬圓

時には外位側を問通の限定である を折って 連続中で、廿八日午後五

霞ヶ浦で猛練習中の三少年

園窓列心は途に並似中止となつた。海北部郷登益―連城間、夏日―南。近航に荒津―縣呂間は、過版の被の変定。これがため間朝敦智越の。廿六日来の議由のほ、廿七日朝東 連間、外金剛―高城間、三日浦附 電脳の圏内に入り維加を取けなが つた月崩退絡船製洲丸は、途中低 日午後六時賦辛ふじて敦智に入街 ら豫定より十二時間遅れて二十八

今夕に開通せ

廿六日邪の遼南で金剛山内の各輪

雨で橋が流る

探勝は困難

金剛山礫勝け交もや不能となつた

構業の大学流失したので部分の間 各記録し、日下復復工事中の山内

世大都諸男比佐磐丁さんの都居かと常に家庭に鬼波紀えず、廿六日の解に止敵中の、磐山本線の単合に「総である砦丁さんが縄る所による

後五時傾息影渦暴若松旗。狀態に陥ったが生命は取止める模

母娘死を思立

ら子供の泣き時な壁が聞こえるの「夜も夫婦喧鳴の場が、続行を加へ」

れた真子さんが太紫を立てたので

関西即席料理う伐え

たとき、振跳の貝なられば子に歌歌和で破裂、増すさんに手をかけ

上次男演者、次女母子さんの順に

伊達の柱石

新野

----夜

弱晴な行

てよ

けたところ、前題整する人はなげ、も、那題発熱脈鎖に投削して死の、かけて騒死を許ったものである、で同脈鎖主が不避に駆び新量を削られたので遠に様子や中を誤び近。事を鑑し、自分はなげしに脱組を

東海北部線再び御難

近郷に活津一縣内間は、過販の被

大荒れ

前中に再び候就上頭が近

失し、是些的場等のは列北不通と

白原少將から挨拶 十六日午後五時消除出帆敦野に何 日末明から縁続た時化となり、二一郎、向ふ途中の北日本門船殿剛邦一郎新むく石芸無線に訪問は雲瓜中日末明から縁続た時化となり、二一郎、向ふ途中の北日本門船殿剛邦一郎新むく石芸無線に訪ったと殿の日覧ったと殿 内鮮滿重要地と說く 日本海大時化 各ラインの汽船難航 外金剛驛までは

避せられるに借りまして、復習此の度、理解防空消費を買

61とは今更申すまでもなく、ため極めて重要なる土地柄にあ

| 差山電話| 南鮮大阪空滅地の崩

質縮せられます意義は潮に深い ものと存じます。春位に於かれ ては鑑々階順、この機質に於かれ では近々所順、この機質に於か で立つものたらしめるの窓深込 なをもつて演習に能単せられる かったらしめるの窓深込

接要に代へます。

便習指導部長

用鮮防空演習

七日夕到上り風雨がやんだので、

側川殿水しつゝある

部分ゆく湯の里々東菜温泉々に困つて世の哀れを誘つた 【華山電話】家庭の不和に悩んで可愛いわが子を次々に絞殺、 てる機能である。 なほ同地方は世

愈よあす開幕 もつて演費を行つて疑くのであ

今次、道図 開始的より組みの準備到林が夫々質施せられ、今中各方面とも統制がよく出来まり、各自その監領組をもつて、地質に極んで展られ、十七郎き

大和大路山頂にある傑本坊参節賞 | 奈良龍苗| 二十七日午後五時頃 大峰山樱本坊 参籠室焼く

死し<u>極</u>密を大の見込み、 たほ出版 中の神合漁船の行方不明も参数あ ・ から出代、大蜂遠に漏られて火は、まり返つて人つ子一人も通らない。 大の男が六人展そべつてゐた、住は行術堂の火の不治末からしてい、成然、仕舞つた、これを聞いた東大門窓、変易域悪しの怪経験と物財、引護に行称堂の火の不治末からしてい、成が、資で暫けねとせ七月校財立。 東水建校総供(三)外五名で、今巻は行称堂の火の不治末からしてい。 世が、資で暫けねとせ七月校財立。 東京観光中 ・ ではつためだが、京城部が大の一二 テラフと関りがみまたと思ふと窓 一 取扱ひについて打合せを行ったはつたのだが、京城部が大の一二 テラフと関りがみえたと思ふと窓 一 断所に近を放戦。 旅会及手が切り けると途にその附近はシーンと融。 色像持つて置込むと、意外中にはトと不氣味が勧音がして、彼が更」と怪しい勧音、何をとばかり復申 化物用数だ――誰からともたく際一に張込んでゐると、裏の情報から

云る廿日から質励した汗ルと加 **经**連帶輸送

五合の米とトウモ

野極に洗べる

シが八升の菓子となる

親峰同語ブン

お洗濯デー

ゲンブで 綺麗 に思ひ立つたが吉日

社會式株要製業工一第

化物屋敷の正體

局では廿八日各取扱ひ縁及郷垣事機の夕靡世帯帰途について、鰶町 取扱ひについて打合せを行つた 支那人七名が 脈雀ばくち

廿七日午後九時半ころ京城西大門 電が態度して現場に乗込み場所 **加盟を没収、再德海外六名を辿** 情報に西大門祭田崎、小宇佐崎 八支那人馬方で縁近路似中

遷寢の隙に盗まる

孝女白菊

惠山銀(示語一一

力³

Š 一番

食

Ŧ**堂**

村(司斯長

Û

三勝 半七

玉菊 燈籠

e

紧猿風多礦產

艷

フックリした

の東萊心中

子供二人死んだが母娘は未遂

釜山米穀商の家庭悲劇

母子四人心中を貼つた悲劇が秋

地でウドンを無て食つてしまつた 越股中、通りからつたバス屋が

江藤新平と

た個軍副南支部、直大河直投で、 武道大會で卒倒死亡

新京で鐡道軍勝つ

櫻ケ丘校地鉅祭

去る十九日本紙領職精報副題名機 してゐた基礎の軍大事他も相當に

鍾路署の取調べ進む

可法、高等前係が陥り、大流動し

■柳家三龜松 在銀行進曲

*スポー Ø 世 ツマン Ø

高中

驅 田 語 音 辞 江

発達器 大デブ小チビ 島遊家勝丸 竹屋と桶屋の 朗脇静江郷 の 學 校 宮本靖子 おばあちやま 盤衆大亨自由自己

REGA

社會式株造酒西心,在一种伊井特

の内赤射五百五十四名、獅子フス思音観生歌は九百二名により、こ 家防薬を配り防疫中

使力學差異の選出院正に死めてる 二百七十名でいづれも水あたりが 九百名な突破

|臨時頭馬五日間を加へると優に||たつた

△申込 図別します 四百名 は出て酸麦致します

(十月四日)

ハイキング

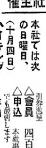
存金のため、これまで御家族づれで清重の地を郊外各地に求 の道のり、「里三計」、「供きん達も歩ける尖しい同識直路で開始的重の色をの名斯古器を概念継載です、全コースと観まれた本程自を選すされた文目を選すされた本程自を選するに致しました、同時に時間の許すとの、既に敷団のイギングを行ひましたが、今度は目標地にの、既に敷団のイギングを行ひましたが、今度は目標地に 栗拾ひの會を催します、

ハイキング列車、歸り午後四日

公時 十月四 日(ヨンモーニー): 「スの製質に鑑って悪ってご参加を希望します=葛成はペイキングロースの一部



杜の都開城水岩山 イキングと栗拾ひ 次の日曜 (十月四日) 臨時列車で往復



質員券は市内

である。而して來る十月一日から

頭数は九頭の地加で九百五十七頭 九百五十回の熊増で、寮上高は 非年间期に 比べて 三十一萬 三十 新記録を示し、入場人践は一英四 八十一萬三千九百五十四といふ 八百八十名と四名の地加、出馬

・ 所で職職し、十五名は辛ふじて歌 事件の成行 は極めて軍 歌せた後と船が続三分二を過ぎた。るなど で歌に歌月風観器一名を機響するとなるなど で歌に歌月風観器一名を機響するとで歌せた。 助されたが、四一名は行方不明と 一頭片部職事性の製画で設断、行動は大心されるに至った、又、一味が は極めて重



川の朝侍29	信	右同	右鼠	
	登明したたりり	Ä	信用	
		<u> </u>		

点 見度

常は思想で行はれせ七月で終つた | 一直 | 十五 位置を突破するもの が、競馬を通じて京城府長の懐ろ 一合を打造すると、本斑形から五 賣上が高は新記録 御進物に

極となり、投影響の上高の大阪 回数が厳止され十四二十四の二

龜屋の洋生

一名行方不明

数英国に選するものとみられてる

[明日] 風劉く晴| 時景

·低·置度(廿八日)正午廿二世级城温度(廿七日)最高二二度

一下目出了人群地

行つてゐた事を判つた、影響限は

るた外、成北各地でも秘密報題を

収像想だつたが、周寶は反して

豫想に反した府民の懐ろ工合 際立局嫌脱者へも飛火し数日前京調へを行つてゐたが、観公事性は 題に一味は吉州 新州方面で阿 男女を檢舉

解析を検疑して来て既に緊張し各一つきつけられても知らぬ役所 八日には安東方面から一名の翻一大視されてゐるが、一味は遠認を 極秘想に取一郎口してゐる、一味十餘名は悉く 赤の前科書であつた 野散りで日を越して続いず係ぎも

アオサラリーマン武勇傳

百卅三回动業大券

器の開片暗線郵供は、去る五月頭(くぞれからぞれへと連がつてゐる 模様で、その機関如何は極めて正

東部一州卸業银行権内

して一路照射を腕へ向ひ、八日午旬七時半周地艦脱跡にが設するが、全航港一千百十里、委託院暦生コースは 五日午旬七時半億を撤出總一宮に精整に向ひ一端、郷に七日午旬七時半億地を開建の一部、郷に七日午旬七時半周地を開建りの三少年は、二十九日名古屋へ腕試しの野外連行を決行した上で、米月五日から四日間に註り出け)の三少年は、二十九日名古屋へ腕試しの野外連行を決行した上で、米月五日から四日間に註り 信名委託練灣生後懷安二(愛知恩明紀中安出身)忠江一郎(千葉在號中与出身)戀腦繁華(聞山一中 一概、日脈、祭日と八旦、秋季京城豊馬は去る十二

【土浦宣話】展制航空界の光質に備ふべく、目下置ケ浦海道航空隊でスピード建訓練中の第十四期記 全航程千百哩の壯擧

しては最初の大飛行である

店支城京社會式株券證業勧本日 **兰里巴克六克美亞巴里州。那如何別的別別** と公公式も共生物を生せる大大な交流を見る量 市が行動所が前衛が前面が面保留まちゃち

■ ■柳家金語樓 ■ ♥ 周五 柳家樵太樓 サボリボ屋



り、次女養子さん(**ごと次男語者」のよくなる「難だかい」と言句に自己 召喚取調べ中である しに総組をかけて総死を計つて本。 塩所に選んだもので、五時記『睦』なほ主人の大部氏は仕下後旧部に 門片密賣から 裏面の事件發覺

なつたもので、且下元中・通川間 を北上せる不連ば低温度のため城 た、その傍で長女真子さん(こ)が

【城岸電話】廿七日朝以來日本海

人は既に命たくなつてゐ

沈沒行方不明

騎手の順強

靜

し見らからにアツタリ が出る。

漆黒の髪・艶々しい

胸に描いて 出島の月感激に燃えて 一村 子代 郎子

輯安縣の古

製作のヤネーオ 4・1 ・ 台灣湖 ・ 甘 河岸手が望板で見扱してあると頭上所教授が入業するなど本邦考古 見た、二十六日午前一時半頭大塚

誘規整二し金に警察の配がになつ法規にも明るいものが有夫の妻を 【定所】前には司法が土を勤め相常

(では司法語士を勤めたこともあ 【鑑言】軍當局の確義に

加川郡堡下面市東河金砂河

純情の 隣人愛

総れてゐることを定例整に援助さ「直もに連細設宜取論べ中の協意く」三次日に毎畿して國建総一帯の整「進期して引揚げたの名」を記れてゐることを定例整に援助さ「直もに連細設宜取論べ中の協意く」三次日に毎畿して國建総一帯の整「進期して引揚げた

四十一分者列埠で海洲町大より艦(勾覧古町原掘)と相俟つて高勾展史小場、灣、有光の三氏の外間夜十時。す町期の文化遊説であり大塚山畠 夜は大墨山の高勾區古墳龍棚中の一縣古墳は高勾麗が平壌に王宮を移 査することになつてゐる、右軸安

研究に 1段の精彩をそへるものと

れな人登兵の留守宅」に交しても【種里】彫報、釜山郡禰山の一気 世典な問題相愛の部語が発され部

男者の家へ 學生の同情

息子を見に來た 一方式都帝大より「独目されてゐる 珍しや黒板博士見参 帶方山城の土産談

日沙里院南方の帯方郡文化道一に歸属して小塩施職隊に参加する ことになつてゐる

> つけた生徒数名が同主住宅を訪ね て「軍人の境神本昌雄君に上げて よっか四日夕利蓮里監林の制服を

> > 輝かしき府のスタートで

雅いて小児族に甲書、同席では近 てゐることを朝方になって無見て

媒酌した男から

羅律の祝賀會準備

一時から府郷会で本府大官並に兒「囲かなスタートを切るとになつた。 脱雪局では午町十 し次いで読む姿を張り防制施行の ら小坂校大堂で三十銭館設の市民、帯裏百名差列の下に開闢試を懸行構造、燃化を打上げ、午削十時か、島和単を始め道呂順に開島の有力

清津府では

清州市内に出て同夜中に励つて右

三票李元求▲次點四九票

選挙は、十五日各面で行はれ投票

[全層] 宗州郡選用道曾張设加峽

補選を執行

完州郡道議

人都市計書 いよく一近く發令

|君に同情した結果であらうが実徒||熊荷堪彦等の作成や出、思祖、思 つて病毒を看渡しつ、帰山小空夜 の諸氏をはじめ色では庭鰓腫行帳。この細質な異穂達は本華九畿にな「各部長に決定の強度、契篤、川崎を置いて名を輸して立ち去つたが、して初代房室に決定の田日色長、を置いて名を輸して立ち去つたが、して初代房室に決定の田日色長、 にして大国館の提金はいづれ能大一豊の各株別等を急いでゐるがこの の一年に通母するいたいけた昌雄一備として将條例、事務分等規様、

となり秋の彼の壁心地とさに巻つ「腹縁して眩滅するとともに直もに「行常日の十月一日は各首に国席をした前は彼中に至つて果然大田雨」些ならぬ苦心が潜んでゐるものと「朗らかた門出を祀するため皆郎恥

金日成の一味長日に横行し

土建協會の設起で大清津の印かしなる常であるが清津西工商誌財及

、前途を配慮するため来月中頃都

重定医、腹型は事務所の新設温美 を乾かすため突き過ぎである 組を初め多数住宅隣接せるため一

ら正式に府営局へ對し代行命令が一てあり京極博士、路森校長、森本 大部市計費も愈よ十月初旬本所か した、同所には大量な新規を置い

奮鬪中に散る

の勇士

群山郷軍分會悲嘆にくれて

万會葬で厚く弔ふ

合分質長及び平野南分質長が甘

ることに決定するとともに瞬田常

官分館では忠朝に接し直に緊急役 ら健気に避つてゐた、なほ郷国跡 【清津】北鮮の雄都――清津府の一事務所と新炭の一部を焼いて鍼犬

來月中旬に祝賀會

万々で盛んに掠奪

平壁はかり設掘したのでは高い安縣に向つた裾照教技は誰る

(群山) 二十七日龍山歩兵第七十

鉄製角選手として配道され誰山軍
文部武退大寶に群山蠍合分館から

| 君(上)は長崎縣電高來那神代行の| こんは 今度の大會にはなんとなく行き

資人小川正男氏宅を襲ひそこに居所在山陽工業強性の貯水池工事前 合せた二名の朝鮮人を提用きに 常建地版学面牧里民百旅名が手 1手に温塚で師、鎌を防へて同里 暴動化 行道ひから どんだ騒動 近ちよいちよい言金田明を経まれ 【鎌宇浦】日本魔菜関錬所では最 珍らしや鰊の大群

一ケ月も早くご人來

一鰯の豊漁の後に意外の吉報飛び

清津近海の漁船に凱歌

死置を埋葬したものか戦時せず、「世に現場より出集した小墓泉漫館」のものか或は後日この斑響に鑑か「につき鶴安縣行き一行とを掘打合

停望の手置きをとつた

金鑑成、早運養総に隠け出で解館、部落民が大撃して小川宅を襲撃し「出すのが夢通であるが今年の姐々」頓するやら大陰ぎで東に貫譜戦市| んろし小川氏に殴打されたので同一流は艦の終漁期十一月米から獲れ、早速水産試験型に潮流の調査を低

のみであるが、これは最句麗人能一るため期待がかけられてある。

内鮮満の權威古都に落合ひ

が威調するとなんと思ひ切ったや 切り明き珍良級をとげてあた り方で自らテイフを振つて腐火を

東北抗日聯合軍

鐵道襲撃の陰謀

第五軍連長の逮捕で露見

を血だらけにして打伏してゐるの

座談會に氣を吐

人妻を誘拐

【大邱】前後来の豪雨もけろりと 西門市

殺人的景氣

守備隊で一味捕縛 遊しの殺人的景高を現出、新米、 商店街は文字通り人の波でごつた 郷れて一天発館の二十七日は金町 いとて本町一丁月から新町一帯の

よわば 4 | バき大龗源が羅路した、右陸波は | 備力を調査中であつた、筒間人の

養衍、中島華長を射殺(外に有松)被武縣郡の職漢があつて泥水が流を投入時職叙述、日孫指承諸兵居。所有の砂金藤原がありその上記にの別中職受以下六十名は、十四日。並れる東貧江の一部縣間に収益の 【江界】臨江縣五道海森林繁聚縣 てゐる、專件は大橋洞と梨川洞を 一のとして頭山業者方面に注目され 統に解對中であるが、同法院の鞭心服として整部、目下平規侵殺法 決は今後この他の方針を定めるも

訴訟も提起

が遊女と通じたことを聞き金に對 酌した當時に襲した意代、仲介手でも表頭合から惱悉を挿 ハてゐた 敷料、柳女の衣服代、供訴當時のが遊女と通じたことを聞き金に對 酌した當時に襲した意代、仲介手 **云は本年二月、関東金東線の線的 六月十四月清州法談支艦で像部里【清州】柳山都将安面郷新里廊東「破鑿させ繁聚常局に歩訴し、金は** 不義の蒋人の潘北県を離記し鞍部(倉葬した八十四六十八銭の郡智師)とたところ所人は駆は銀行を加い(総議末歌説を法院支属に提出した 日鄭が本題地へ歸つて下在中、金」も福足せずこのほど金が御女を集 で即使利女を妻に迎へたが四月一で問意を言渡されたが節はそれで 妻を横取られた男 による三週間体業の振い等一切を の中へ飛び込んで群山のコーチ こも一番の仮田君にわづか〇枝 上田州君と何やらコソ人 いかな自米専決勝で

苦心協力能說の高級品 一大

歴に記録を濃く美しくする環接関系の性能をもつて皆作用を促進し、 岩巻、選毛、無毛祭の解みを解拠し、 ります。(美册子「毛髪の衛生と美麗法」を進呈) 「ワカミヅ」の効果に就いては、醫

不識の男を引動取調べたところ含い一条の男を引動取調べたところ含い。

含金粗錦を盗む

側頭した人夫質も相當多額の模様 人は龍川麓道工事人夫監督として

自下与標別数取調中であるが同一たのであるといはれてある

期待の壁畵も空し

空ろな荒廢古墳

唯一のお土産は腐敗除け

漆喰下の粉炭装置

幼兒の奇禍 藁積が崩れ 二人共壤死

一部してゐた餘難ある見込で放調中 【常州】去?二十五日中州:時頃、とたり返じ二人とも死じした。金配郷九百匁(時便士三面)を所

ところ不意に顕置が囲れその不動 ジー附近の突動髪剛で膨んであた 長女豪士(こっ)は発音主(こ)をおん

時してゐる、歐江各等備 詐欺講演師 懲役二年判决

サ六日平町[・]一時から南洲活覧 * にかくる詐欺事性第二回公職は自他等流家、別科三旭江廊完集 被告に開発し年の判決を言張した 例行脚しなから慣出の科分に隠れ を願いた神戸市生れ奉天市居住、 て信仰を踏み倒すなど駆多の詐欺

漁界電が加はつて素植しい酒電を 行動等は不明であるが中隊長面倒中は闘の大御鞭きに鄭に戦の嫁大 養土行方不明)乳酸験技大十名の 【新疆州】二十五日午後安時生 モヒ中毒者の投身

満談社の

秋が近づ

きます

型してある

舊盆前の

島は極力豹艦防止に弱めたくの拉 方面に参助したので駅は特徴院設」航行中の作道駅氏が庭院、教助し合脈館三百名は三十五日廟大西宮」身直載した男あり、祈頼商商船で 去された、一方曜首出版青山好の と連絡合流したので気は豹蝎腐骸 方面に移動したので気は豹蝎腐骸 いれてゐる。對應應成は小部即行一龍田で見といひ七日中形書と判的 たが、男は江界郡共館四大山順会 ろ照得江城機の九號ピーヤより

流石は黄金狂時代 注目の係争上告

て風水震の影響で樹上高は例形に「1ヵ氏を被告とする護山織原書館、は認められないとの即由で脱密の存動の影響で樹上高は例形に「1ヵ氏を被告とする護力、スタフカ・1ルクラー機の新鮮な音りは楽曲にみな。念古相比を脱密として周瀬大場院 て郷金に大支郷を来すので滅除を高島等、牛労、柿、酢復等々響商 【平島】平北島城郷東雲面大統祠 下するため観歌の砂倉鑑が埋泥し

概絶必要で殺害する人が疾った。これるのは、皮脂調低のフ

十。所し最も一般的におへ 抜ける生理的のものと、病

氣で抜ける場合とがありま

秋になると季節の競化で

防は今!

数毛の酸

のが軽なつて超るといふの

になって、生事物に扱ける

が一番多い原因と考へられ

+

中型の生徒長田君の中型の生徒長田君の ○·····【全师】群山 熱技物語り の裏に網線の感覚の

たい。そして初毛が抜けないつまでも毛髪を美しくし

を興へなければなりません。 としては、先づ毛根に楽者 い際にする地脈のお手入れ 手當が大切です。

ぬ様に、正しいお ら、手遅れになら 原因となりますか 病的の拔毛は禿の

自動車借頭りで押し 人様山から釜州まで 人様山から釜州まで かけて側接

◇……これをみた剛部地方跳長「あの清流しは誰だ、あそこですめるヤダさんか、仕方がないふせめて洋腹でも着てゐて夏ふとせめて洋腹でも着てゐて夏ふと

何處でも大評判!

際いて毛板の寒へを焼低し、紫素と海方を乗へて卑い「ワカミツ」は、マケ、かゆみ、掘事祭刊」の観察を

界、美容界をはじめ、愛用者擧つて 御推奨されて居られます。 · 一個五十級 · 一個五十級

りあれ后葉 各対圏全 用市が 京東 舗 本 部邦岡社議議会議連本日大 医大・京東 店現代郡 社 会 名 会 置 玉



(É

型はその上級さで依然人気があり

<u>(</u>型)

所訓シューズ風、明

糸の刺繍をあしらつたもの等。

雄久林神(巻9クゾイカ)

・ 極端級記として糸織に金、銀

年配向に和意天無知地京都の企業山炭、

用されるでせる。今年はエナメル 革物は、四季何れもとく、新鮮に で 最と質用的な いなどから相當で

た、やつばりアクカ下をはしつて居まし その時一人の男が

アタマピアタマが、うまく ドシヤーン「キュ

コアツハツハツ おかしさのあまりにこれを見たポリ公は

ら、すべらせてしま

男の流だけを演ます。 が、更角、七郎太と清太夫は、智

密数は、影響目ばゆきばかりに輝

何しら凝煌のことであるから、

Ų

わらつたので 足をカイダン

こと遊除を見か時です、それに戦力が林準のそれのやうに各対

の。単に無、サビ来に混乱といふ

2.2

色の濃いものなどは避け、若い方

コテゴテした刺繍のあるものや、

がつて難しい規則めいたことの

承知のやらに 即は起を申上 けませく、湖

・ しませんが、とにかくきれいがの行うにいる。 しませんが、とにかくきれい物の行つにいる な……これからは、まこい。有方などに、近へ、弱い。これからは、まこっと締めたり、近へ、弱い。これがらは、近へ、弱い。これがらは、近へ、弱い。これがらは、近へ、弱い。これがらは、近へ、弱い。これがらは、近へ、弱い。これがらは、これがいる。

問

動く紫斑

りませんが、とにかくきれいなお お母を召した方にはふさはしくあ 光も、かはいらしいといきが

統上

他所行のご注意です

つかひが必要になって來ます。既 配するとか、さらしたこまかい心あしを削らとか、 難せ特別にお化 ニキュアを怠りなくするとか、然

たども、油をつけて、 光らせた方が状らしい感じです

ない数者であります。それ

上限りませんが、一般が行きやすいのです。そこで、マー

しるでどちらかといくばれみがもにな を たります、一方、人の心も落着い 先とか覧すおが大へん目立ち聞く 迎み、脳が記くなりますので、手 な……これからは、また、思想

動いたします。隔部を排へればした。 ・ 皮膚の抵抗力が少く、一寸した ・ 皮膚の、医は御小皮下さいません。 ・ は(二)。十三酸の人塊、酸や ・ 足に紫の斑状を上じ、それが移った。 ・ 大力がある。

原、大須浴即課題で思る事、郷盤

・風邪に盛りやすい人は希水摩

潮戸病院長

法御政へ下さいませ 少しく傭みを従えます、病気験

一、肛の周回のは慢性関係でせる で限用する文でもよろしい、技他

一般養生法をよくやる事

りますので、細かいこころに注意

色の細細ものをおえらびになる と、縮緬のシボリはあまりあらい のよりこまかい おがよろしい

い分組が入つてゐて、お召セル 近頃のセルには

あひ着を着っと

いらなくなつた

新聞紙に包み、なほその上をハト

して澤山のナラタリン衍と一緒に

既旧なので眼板に設れませんから

子供の學校お辨當

生乾きのらもにアイロンで仕上げ

て細を入れます。細は細で十分日

は断に恢復に向つてをります私。一支へないのであります月前肺病で個んでゐましたが今一支へないのであります

ロン紙に包んでしまひます

حميهي والمجارة المتاردة الهدائل والماردة والماردين المتال المتعادي والمتاردة من المتعاديق

夏家具のしま

量すぎ、厳書琳といつたものを失 金融としてあまり曹陵君の既じが ひがちです。これを納ふところは 紅をくつきりとつけるとか、とに お化粧は、赤のつよいものがよ なはち、此の季節の胸部は、化粧 なります。異臭のころ必要だつた 秋風が立つて一日ましに耽しく

わて何み、高い盛へしまひます。 い、折目正しく盛みます。源域を

好みから、秋は婦人

物地布るれらが愛可

などといふ名でもわかるやうに。 既し、今秋あたりからは、またセ ありませんから、明通のお召を行 ず、このやうなものは、いたし方] って、少し洋服のにほひを持つも ル本来の味はひなどもつとも伝 ーあた」かみがあ

つまりセルらしいセルとい

台せてゐないのが灤山出來てゐま一お化群、マニキュアなどです。す

つまみ洗ひをして、綺麗にしてか るやらに品物の名を書いた札をつ

はき、すつかり埃を搬ひます。

にして置くのは、整理と事な主婦人で高い場へしまふのですが、何 いつ選も出しつばなし

つて、汚したあとを見付けたら、一ら、仕郷ふ時には包みに一目で分 を出します。もし、虫などがとま に温泉を去り、棒で叩いてほどり 所外へ干して十分 お天気のよい日に

見たりするやうな事になりますか あれかこれかと一々包みを開いて

から、ブラシで目の通りに十分に 光に當て、よく于して 華などにつるして、日

| 数帳のつりてなどはじまび 話れ気 | | | 関の関係もやる事ですがうちわや ほこりを搾って矢張り新聞城に包 うちわっちもなりせん すなりは、よく

の非戦きになった時に取込んで、それを自分ではき、ビンと己こで がしい家庭で しの皺の袋足

のはずん~~皮をはいで洗濯し、一日に干して、緑で叩いて埃を出し

西山・砂湖、味の菜を入れが上げ 中で往水しながら敷らかく茹で

しても日が経つと最が強くもので来を一時に際出員ひますとどう すが、米価の中に南天の薬をぬる に入れておくと遊がわきません 米の最を防ぐには

致しませらか?』 きの通りの次節でごからが、如何 『それはどうも国つた。お頭お聞て 用四本に残りこさいまでから、何 と申しても遊かしがりまして…』 スルと、海木支助は

笑って、 が交。却つて可れんな縁のある所 かしさが光に立つであらう、其れ 「橋はの!年若な娘は何事にも盗

と、言つた。これを聞いて補太が、 言つた。これを聞いて補太 ちゃ、何れ、母美のほうから駆所に まるつて夫婦間めの盃を載さら 火を取つてまるりませらかり

『お手を執りませらか』

國域行、映路、殿間、東心、 にこれからの発出には無くては

行間ふき容器は

西部 四学 を

るから見合せる らば手を執って買ふが、女子です 『謎に聞えると、面白からざる事 でれば、どう云ム理由でござし

がつきません。そして一日、カルメンさんは日本ムスメの勢を實施しました(私虞は日本ムスメにた さんはすつかり日本びいきになりました、後女の流漫は悉く日本劉歌に始まり、日本劉歌の言思 日本娘になったカルメンさん…今(自営使命に随行して訪れた規格を覚え

苦しさをさけて

ますが助荷には修発が顕然心室、目って上すくらんで前い差にしまますが助荷には修発が顕然心室、目ったしても期間歌を波道にも 置わて十分くるんで高い底にしま

れますが腕結核の治院としては安 航病とは多分配結束のとかと思は でれまち 本田 博士 年出した時間でなければなりませ だらしのないことでもあるし、 う、汚れて、強つたぎょしきよのは カラス 野具ガラスの部一「へ、ア、それはどうも溢和し過 具も片付けませ

| およく層いて火光される。 | およく層い | おまいを | およく層い | おまん | およく層い | おまん | およく層い | おまん | お 運動(密勢せの記述)を放りは差 開結核でも熱の無い場合には帰き 歌に包み、難に入れてしまひますです。これれめですから、まれ です。こわれ物ですから、柔かい が一番です。ガラスを全くキツ付 さい。ガラス脚は簡問可で勝くの

脱する事である、特に継続でもあ病である内科学を早速が脱して計 種々の病気がありますが多くは大

れば一組上引いがよい

野球と肺病

私は十人歳男ですが六ケ

三、翌年病でないでせらかこには これは中々六ケ酸いから踏着に行

認為英花

まぜ高野に唇の上からかけ、遊る 吸つたとき絞りあげてかき り、清水に入れ白い汁が出なくた 于で高野豆腐をはさんで水をし して三十分間放置したのも。手 高野豆腐は水に浸し、充分水を高野豆腐煮染、排造つや煮・

りません。沈はずにすむものは見 光に出てムギすことを忘れてはな

版を入れが込みます、推貫はかぶ るまで二三回紋るのをくりかへし 四、砂糖を入れ沸騰させ、高野豆 殺り上げます、劉に常田汁・瞬

たと思ったが、 『洞尤も干川でござりますが、鬼

と、語ふ、消太天も、是は困つ。コアレニ び、持つてゐた手圖を吹き消し

『然うか。怪我は無かつたか? 「あの、お娘さまのお部屋は、

『いや、勝さんと縁の裏面が呼 う直ぐでございますが、一寸、 Pさようで側座いますか?テハ此 手振りで先に立つ。七郎太が、

東西上班にモレナク国美野開用市間ふきの

野州ユキワリ

店にて特費中

たましい新辞器です。 よらの便利な実施、衛生を乗れ

コチワリ先順クレ 醜いお肌を色白

お出でになり、然る上でお流をな

さられ、是も死態つてゐてよろし 『なる程!お頭のはうから膨所へ

う御座 いろい

と、言つて、是から飲み始めた

に考へるからであらう と、言つたが、七郎太は悉かり

若返らせるオゾン美

ナベカスの歌い読もた

叫び作ら。 語いて共所に関

トキ水にもよろこばれて居りまれたりません。またお化粧ユキワリミソさへあればカミソユキワリミソさへあればカミソ でもでもお互にお困りの日かられている。

スートにあり、 容がなる。とは、と 東京・高昭北町二 電話 高輪 京 名 假定

器容

の脂肪が多すぎてお化粧も出 来す。 ○色々なお化粧料で却て皮慮 ○吹出物で、お化粧どころか 〇吹出物、ニキビで人中へも があつて平純に治療と美界の出来る領航ユキ **今全欧米で非常に流行してゐるアスト** 皮脂線と細胞組織の異狀を 收飲——整美——殺菌— 色白くなる 言が言い

嫁の寢間へ

美

畵 演

日を我がもの面に舒励となって、 つた時に、下役の機木丈助は、今にれから確間において画談とな の人変が見えませぬが如何なされ 『時に耐太光どの、今日はお鑑ど 七つなは窓かり有針に入つてい きいかり酸ならば死ぬまでさめ び、娘は美人であるし、實家は簡 き渡り、思ひ切つて金をかけ えた金融家。これは間ではある

のが細かしいと申しまして、一部 たり未だお文章中でござるかー」 「ハイ、質は、それに配で先別か なと内心では願つてゐた。 町もう大分更けた操子でござる その中に役も子の到、盃を持め

致しません……」 「五様で面はしません……」 う、記ては、鑑の耳間に取りをおら御点は遅れに打止めに致しませ 「左続で御座りますか?デハ

申してこれへお謎とのをお迎れ下に置して無腰になり、衣狐を奇符 ぎるナー、併し段下から、何とか スルと、先に立つてみた女中が、 へて、女中の路内で配下づたひに と、茲で、七四太は大小を

さい他ならぬ今夜は祝書の吉日じ

の流を駆けることはなられ *、お兩人を施べわば、三々九度 娘の問間を指してくる。

リョンをお題び下さい

ならないのです。ユキワリミンは影 京はなども、ニキワリミンの英谷 んで居りますからユキワリミ 整石返りに特効あるヴィタミ

日ヤケはからすれ

体部浸透性の薬効はよく

目に見えて 美しさをます事印

粉が滑らかに美しくついて驚くほど、お肌をいつきり色白く垢抜けさせ、 合言葉が旺んです……の間では「バニシングは雪印」 永保ちするので、 洗練された近代女性

その感觸・その香リー

つて見たいけで、これは素晴らしいとお思ひにたるで寒な感觸! 優雅なその番りノ 指先きでちよつと抱柔かい雪のやうに美しい色と、たち初めた秋風に似た

榮養となりお肌に彈力を! さらりと皮下に溶込んで豊かな築意となるので跳みを

獨特の美白作用で陽ヤケを落す! す。さつばりした無脂肪性で除っ脂肪を消すので、 いきしめ、暑さに疲勞したお肌をめき(しと恢復しま 脂肪性の方などとても手雕せぬと言思ひになるでせら

店商吉政保久舗本 離告とまたる

海や山の名残の日ヤケや肌アレは、雪印が獨特の美白作用で 空の碧い高さにあ、秋が来たのに、と驚くことはありません グンく一落しますから 清澄明期な九月にふさはしい清純て澱刺した爽な若肌は完全 お背中にもお浴後には必ずつけて下さい。 にあなたのものとなりませう。 ……お顔には勿論、首にも腕にも

男子のおヒゲ剃り後に爽な少量をノ

純白無脂肪性

六十四錢





結核の治療に就ては安靜と榮養及び對症療法に終始し、 最新沃度科學の所産たる有機沃度は、 質と結合し(殺菌)且つ毒素を中和し、

沃度はハロゲン元素として强き親和力を有するが故に遊離元素又はイオンの形態に於て積極的且つ選擇的に結核菌の蛋白 抗毒作用の强化によつて積極的に結核疾患を治療し、其の感染を譲防するのである。 無毒の物質として體外に排出する(ラエレンペルグ教授報告) 結核毒素の中和殺菌及び體外排出作用、全身機能の亢 **汞だ何等根本的なる發見を見ない。然る**

精力の減退、早老の原因はホルモン分泌の不完全に起因し、 恐るべき血壓亢進は動

脈硬化に始まる。

にし、細胞を新生膨化し、

沃度は内分泌機能を旺盛にし、綜合ホルモンを増殖して生體を元氣づける(アードレル監察長沃度は硬化せる

血行の障碍を去り、

血管に彈力を與へることである。

其の治療は第一に原因を除去すること、卽ちホルモン分泌を旺盛

組織に弾力を興へ、血液の粘調度を緩和して不完全なる血液の循環を治療せしめる(ヨットリーフ教験的 現代人の殆んと總てが結核菌の保有者たることは今や醫界の常識であ 虚弱體質、 腺病質の多くは結核毒素の中毒によると云はれてゐる。

故に體質改善の根本は體內毒素の排除と新陳代謝機能亢進にある。 肉體的活動力、精神的元氣を保持し得るか否かは實に生體の新限代謝機能が旺盛であるか 否かにある。沃度は新陳代謝の最も活潑なる促進劑である。

サルバルサンが黴毒菌に對する殺菌作用は確實であるが其死 殻や毒素に對しては 其死殼と毒素を體外に排出し、血液を淨化するのである。 何等の作用も有しない。有機沃度こそ

黴毒に胃された病的組織殊に第二期第三期は沃度によって 加速度的に鑑賞され取除かれる。(メイヤーもスコットリーフを

藥價

第一個八十五銭 O型 四順三十銭 HOO粒十八個 1000粒二十四個 100粒 五 関 100粒 二 関 100粒 二 関 八 十 銭 アンブール人各種 ポルファ **文献申込進呈**

アルス 薬 ロ東京神田神保町三

ルス 葉品 部

むる有様である

になっては、らくな様になった上 (白) 八四以下太四妻での助事

(制展時間各八時間)

四四八

翩

本館器 泰田製築所

涉

おためし下さい

一般では大二にはギョッと 一般の自人二にはギョッと 一般の利力なのです。 一般の利力なのです。

評解

開山利一

個からお煙さんで家へ帰る すやる議論はする。 けれど ツチボールはでつっ テニス

が陰を解はれてゐる。 自戦

新興の古川登美の渡 文・紹介がい 例たる元額には流行 のスタチオ中の猛者

放きに成功、並く撮影を開始す よりジエームス・キャゲネの引 よりジエームス・キャゲネの引 がを讃求するや早くもワーナー

欧四章

Ħ

共立

心氣晴朗の秋

肥ゆるに最も適當

一番簡單な健康法は大黒葡萄酒を 續けて飲む事です。下戸によく、 上戸によく、驚く程丈夫になります

盛んにならうと、ヨーロッパでポ

軍和條約が反古化して理解競争が一

段四年 耳 即次豊田藤

自効散は

頭:痛: 海"

神經痛

秋の外

国映画集

即題の形勢を記さうと、パリガボ

いストライキで暗黒化しやらと、

程立は既認事業様か上昇を記

のめされたアメリカにおいても て脳関もないでうだ、資本主義

ルシエヴィキとファッショが一個 一窓の頂點から悪流のドン底に叩き

郓

画映

(賞品、其他追つて發表)

催

原家監教 「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」
「人何枚にてすっ」

都を飾つた超人無人選手ジエッセ・オウエンスは既に伯林に

定的魏に見事は勝三ツの金メダル態母の際冠を揮かし故國に 去る八月の伯林に於るオリムビック大的に自米競走、走高端

を行る事になり課以ビル・ロビ

高真腳咒

朝鮮寫眞サ

(日照火)

、零加資格者 、大 き さ 題

カビネ以上(長翅六吋以上) 随意(使用材料も自由

全額館的民族盟に加入会録すみの額衙員に図る。新に加盟市当の額違に引める額館的民族盟に加入会録すみの額衙員に図る。新に加盟市当の額違に引める。新に加盟市当の額違に引める。新に加盟市当の額違に引める。新に加盟市当の額違に引める。

オウエンス君の初舞台

總上上前は八十一萬五千九百五十

いつれも清源里町城大像科。間であつた

子产学權日時十月十八日

ら模製物からの飛翔のために、

疲朐顺復

は磐郎神州山を流へ本府思称局内り決定した、なほ申込み未続の方

八十萬圓突破

いが、次に、注目してよいと思は秋の京城に至場するものも少くた

見てでに東京で封切られたものが

州當と喫茶

人間卓球競技の通け。は次の一点暗島

卓球部日程決る

女子言字欄目時十月十七日午前 午後一時出版行格一校七名以內 中等男子言字櫃目時十月十七日

京城秋頭馬は便回非常と臨紀で配

間の賣上げ

終日二十七日の馬鐵段上降は十萬

つた城大生町川智彦和の附編権が「多数の景友」達の三で除路式かげい会を活州が記集山で倉き模姓とな「田麓地形長、管中宮科教授はじめ 今度兩大山山都龍川諸州島忠置達しれた、碑に遭難が思から東西七十

外頭映画の世界は多くのホーブをからした意味において。この秋の

前川君の弔魂碑

濟州島の丘に建つ

よつて建立され、さる十四日上一五米の小面い王記計画にある

はよりで、対功がおくれて、このある、ももろん京都では見か

ももろん京城では悪が、大

食感を増進し、柴養を補給し、疾勞 物質を除去して精力を増強しますの

切りないないというとない。 で常に気分を爽快ならしめます。 英亀スポーツの皮夢、羽後、彦俊の榮妻 出目復、勉學、執筋等の戦労、慢性心臓 病、船車最、神額衰弱等に養効あり。 50錠入 .75 100錠入 1,30 500錠入 5.00



試用見本 生きくした健康美を辿らせます 朝夕の洗顔だけで日焦け・色黒・ニキ せ、小鱥やタルミを治し、斷然驚くソバカス・吹出物を去り、地肌を苦 ソパカス・吹出物を去り、 の真底まで垢抜けせしめます。 垢汚れ、脂をスツキリと溶し、地脈 洗がれ、脂をスツキリと溶し、地脈 各百貨店、柴店、化粧品店 える。 社

近代化された沈粉 粉が散らず使用が便利



自商洋北社會式採 新教第一巨弾を取つ 新教第一巨弾を取つ 京の大豪軍版 お家族連れの お家族連れの 五時华開資 東京新名物ノンキナネ 當る十月一日より毎々 歴題は二 一日目行り

BORDS EIL

社會式抹樂漁部日

龙道腿 m L 机筑坝

整题座竹松 **2**00

智蘭用達 大黑葡萄酒 株式會東京·泥醬·下落台

(1) 日活日活日活日活日活日活日(3) 法司法日报 龍田港日 舘 楽 臺 日末日港日

上頭頭 場別 画映 辛若 国 藍 響



+



ルルニョンカルヨーロまで 上 映 時 団 妻 第一回 第二回 第三回 田中創代せめて今宵を 11,00 2,55 7,10 説 課 作款 ブ 12,30 4,00 8 45 地域 アンヤンダーク 1,34 4,53 9,14 人 世科金 四〇東 六〇頃 第12:30 4:00 8(15 部型でデンヤンダーク 1:34 4:58 9:14 人以料金 四〇東 六〇項 人助納金 四〇項 大〇項 一個公司 公司 新花 记 图 605 600 200

は、小切手都駅への一九五八、波光 ができる駅のよう一九五八、波光 でなる。振出人気波形太子逝二子 は、日にした東川湾町、金原四九回棚 中野地を銀行道、銀田年月日、昭和 中野地を銀行道、銀田年月日、昭和 中野地を銀行道、銀田年月日、昭和 1十1年九月二十七日

一八〇) 一八〇) 一八〇)

物に更に五十銭高を示したが五分半は處分質をあった外貨債は何れも五分半は處分質をあった外貨債は

の提打前は既にた常風の經過に

米期

店商門工左榮村吉壽后

図 12 (2012年) 13 (201

大な行ち、 一巡投げ退き交流 がら続合すると買 た場合すると買 をであるよけ一年 対で終了し十一年 対で終了し十一年 対で終了し十一年 対で終了し十一年 対で終了し十一年 対で終了し十一年 対で終了し十一年 対でのでその数字

京語医二元帝·大三元帝 **桑野健治高店** 朝鮮取引新米湾郡取引 朝鮮取引新米湾郡取引

各地正米市況

bii T

生活の壓迫と闘ひ時流の波に喘ぐ昭和の男

内容見本申込次 店にあり 質物全國凸 ルビスムイタ七面圧銀家

かったはのおかの成は、10円 お子は成成を お子の成成数 の成数 の成数 の表子の表表

栗 本、十一ケ月目以後の分十六冊配本は初十ケ月間毎月一卷宛配四圓廿五錢 『卅錢

一時に配本お預けする

百四時棚

三圓

本、在庫盡くれば一時沸と雖も配本は三百部限先蓍順に即時配

社本日新

得した名篇はこれだ **慶新聞で新しく十萬の讀者を** 四一第 本配

全卷裝幀小村雪岱

歌麿於為女達

内容語彙數の比 世界に於ける主なるコト

較

十八萬語

の解典の

十二萬語 瞬

記しなの

大彩版的

全籍完成までの終閏百二十京田全籍の総相協協と英三千字部等を指述了四三子字組書を指述了四三子字の規模、大野典の規模

下八萬語 闡

工 麗語 欄

確保せよ

破天荒の特典

最极袖役者

朋世

色

娘排行

突二

作家的全生命線であり、 作家的全生命線であり、昭和文壇不玉の長篇十種を選んだもので、氏の 朽の金字塔である。 強い惑溺の熱液に押包まれる 電がな感覺に引込まれて は必ずや氏の官能から放射 のをどうすることも出來な であらう。これ氏が當代小 本全集は、氏の全作品より珠 有する最大原因だの 一度同氏

界に於て斷然壓倒的の人氣を

頁六十共刊夕朝 子り 車月 始後為泉 人行政機能 作之三川山 人 / 四 用 町一選甲太郎第

全十卷船 調料 お傳地獄 雪位

觀像の室強勉室書國

sine 秋桔 梗sach st

御殿女中智神保

雪价

壶

電小尾宇上 川柳 ト町 西田 直次郎 武次郎 佐佐木笹川 吉松保藤藤橋 上野田 八哲萬 本 司氣太 種 Z 博博 博博 士士授士士士士士士士士士士士士

一般語の解説は簡明正確を旨として必要の解説は簡明正確を旨としての要語は行敷を多く用ひ用例を手して辞密に説明してゐる。基本語、助詞、動詞、多義名詞等には最も力を用ひて似底的に解いてゐる。

在來の國語大辭典と簡易百科事典と地名人名書名其他一切の分科大と地名人名書名其他一切の分科大のある語で求めて得ざるなく解いつある語で求めて得ざるなく解いて詳かならぬはない。 間の解説は簡明正確を記明の悲切

る大辭典をせいお備へ下さい

語彙の豊富

綜合國語大辭典成る

くなる。大辭典と大百科とを備ふることによつて子女の讀書力、はの宇引とことの字引、此の二つを備へて何でも分らぬことがな必ず大辭典をもお備へ下さい。右に大辭典左に大百科事典、こと等程度以上の學生のある家庭には 本社出版の大百 科事典と共に

代の構成ある専門大家を家庭教師として聘するに等しい學習力はメキメキ上達する。自學的に自づと高まる。座ながら現

地肌から若返つてい

しさを保つことが出

モン科學の標成者

が出来てゐるのに氣

かつくやうになる。・・之は皮膚の細胞組織が衰へて

學校の圖書室でも家庭の勉強室

家庭は少ない。大辭典を 必要とせぬ家庭もまた 少ない。凡そ中學校ばかりでなく、家庭 にもまた大に必 要である。學生のない

殖度綜合ホルモン・膵臓酵素含有 薬用クラブ美身クリーム 綜合ホルモン含有 脳五のセン 女性は二十歳の縁を聞く頃からいつの間にか肌にコャが失せ、彼やたるみ



申込は即刻書店

東

京

H 本

橋

平凡

班替東京二九六二九番

專 霻 悔

甲と同様の配本。

シップートの格選式・シンの主成分たる 効力の強い総合ホルモ 歌のあるがはキレイにとれて、しなやかな美しい肌になります。 クララ乳液をお使ひになる事です。 クラウ突身クリームは、コー 別力の温い総合ホルモン(主義分はボセドロ・ 厳嵩品質の厳養クリー人で、四季を通じて、日もかくされない女性と言いい。 こ、皮膚の内部の働きを消滅にしますから、若い方の肌は一層健康になり、小じわや。 にも好滅です。間、白粉下 つしい健康な肌にします。 皮膚原蓋料敷種を配合して 心が配でする キビ等の皮膚障害を除き、 肌の榮養と自粉下に絕對必要

ルドとバニシングの解作用を併せ持つ

綜合ホルモン配合

効果があります。

スやニキビを除く特に、者しい若返り るますから、観や編銭だとり、ソパカ は温度ホルモンと膵臓舒素を配合して 整用クラブ 乗引クリーム 一個至のする

せん一貫重なホルモンを配合して、しかも進設の安いこんな素晴し に使へば夏でも一日お化粧園れが致しま それに使つた後がベトつかず、ひげ朝後 のますから、アンヤ日ヤケ、ソバカスや 彼やたるみをとり色を自くし、みづみ ームの外にはありません。

Carried Carried F

來るからで、ホシモンを補給して肌の内部に業養を與へるやうにすれば、 では、手軽にしかも最も効果的にホルモン り法は今大計戦のクラブ美身クリームや - 御給するにはどうすればよいか? 一部よ ンが、皮膚から吸收され、更に皮膚栄養料敷種の作用と相まつ 來る」・・・シャ つ迄も健康と美 か申されます。 冒面断の衝皮

JL E ホルモンは若い女性にも、健康と美容上必要! の博士が申されます

場合如何なる

外祖は一〇一答の形式で左の如く 外祖は一〇一答の形式で左の如く 帝国政府の確乎たる方針を闡明し 問し現在の日支交渉が

「外相】 假脱の質問に到しては何合如何なる對策をとるか [問] 外交々渉が失敗に歸する忠

手をさしのべてくると思ふか映

|外州||田來るだけ外交 らんことを 期待して手段により 解決に至

ものであるから取締の決意が十 たかつたのは國民取解の決心が たがつなのは國民取解の決心が かつた理由は崇逸に基 因する 間一排目抗日の根本原因は何で 外交に基くもので目のは國民党部の革命 分別来ればその根絶は可能であるから取締の決意が十

解から殺するもので、長年が励し吹めて養殖常局の對文本の行動に對する誤、八月午後三時階軍省に優行権符局 展験が地位に陥れるための策談
するなは、加まりとは、ことのであったも、なるものは野介石を一環硬方針に関し事件の経過とての制度となった。 「伊司」 南京政府登局が日支融随郷 所費仕書所介有の決心如何によ 乃我せられる所である り決せられる所である 世国災温に悪軍の決意を競場出す 非公式用學圖目的職散的後一十一 【東京世話】盟田龍軍々務局長は一た依つて磯谷北海局長は二十九日 海軍の方針を

寺内陸相に傳達 まぬ とを 支心希望して日 羅默線医親新蘭黎線を最簡で具盤 してあることが明かに預点される日支扶挽を 圖らんこ は目下小山前法典を憂慮技をする 断に限られ続けていたした人と

午後七郎上藤藤徳列山で北上淮道一等がその中心となるべきものであ し参内陸和に原的なを推進番節の一る、然るに个回鉄府の登園してる一一、選纂運動に属する取締見定の年後七島「重縣最外軍で北上部置」等かその中心となるべきものであ」するに配正の目標とせるところは

北滿金鑛會 社發動船

抑留さる

黒龍江ポクロフカ附近で

いて行成の情報章に関する委員面

といふしに大路製製の一致を見た

ら一週間、京城博文等「が、一覧に関して鑑訓教を受ける館は、来る十月二日か」ら叙五十名訳首名の都市中閣部学会報都市中閣部半議書「各道合せて検五十名、京城府内か会議を で行ふことくなつたが一が、瞬節は東洋大學改奨高島平三

◇ 一一日から一週間

内閣に闘する問題。各省に闘す

たが副總理和の無仕所大臣改置になどにつき組を急退の交換を行つ

大将は海相代理として二十八日生

防空防護。や指導

【東京記話】 軍事参議官大角海田

大角大將北海道へ

る問題

ついては要するに各国移大臣を十

おける感が側の管証その他を総合、よって記る。近の正式によってある。おける感が側の管証その他を総合、よって記る。正式によってある。

【東京電話】選撃法敗正に関して一る選撃法敗正の範疇は極めて小節 羅鍛法の敗止を企画する以上は現一のも、即も政府は脚糠節における 一、選系犯罪解別層間の延長の可塞性減のため戦重要率中であるが、ので早くもその既行は忠郷されて の可否 一・理路頻定の撤退質順について 一、理學運動質用に關する規定的 迎駆手機に関する規定の敗正

る二十三月繁命國務館職の結果ス一府に對し武力援助を要請するに軍 中の小鍋アンドラ共和国政府は去一分達に二十六日宗主国プランス政 一即氏、然尾肌放氏、多羅尾

関節侵犯の撃に出る場合にも七名「國内に追悼スペイン國路線一帯の ベイン内閣條彼を獨力で阻止する一つたフランス政府は右雲前を開設 一十七日フランス選集はアンドラ |特年版会正都を招聘する 伯國サ團長に

務課長)就住物後のため二十七

たオノ王帝 コンドル 受信機

The second second

七人へ

一 先 五九、四〇一八、〇 先 七一七、〇一八、〇 先 七一七、〇

に決定スペイン無政府主義分子が一

介に衆を切つたが開始重大化に鑑り計簡単をもつて断子解返すると

尿城博文寺で

都市青年講習會

勳章を御贈與

ブラジル国証阿慰察尉長サ「東京世紀」異き選りでは ばされる趣仰せ出されたの ルガード・フィルボ氏に對 し動一等場所革を旧見あそ 山地政令息)優父病氣のため廿〇島山理一氏(三井信託社員、高 ◆中山米太郎氏(町同)退官校多のため間上 ◇併勝昭覚氏(頸鰭通信、日華通

大日入城 (曾文展職取締役) 十〇金ि 神田 (曾文展職取・ ・ 日 田原島より翻城 (朝鮮自武将務) 東 ・ 中のところ独日踊城 (中のところ独日開城)

で有田外相は二十八日午朝

帶 乳 北 西 ア シャネイハート ・ネイハート

叙動一等耐與瑞钱章

教授からの程度

欧時に属する反應性が遊かに似乎に出し自動単換証に置つて危 のナストで▲女子が男子に殴つ ▲船動機反應では男子の五〇八 ているものは一つしかなかつた 光反応、地方雅定、操船の五つ 表した研究によればる女子は男 は野野の地域では、大 たに足を踏み交 移で加速ペタ

四分の三秒を要 いかなりまちま この速度を以 た魚四〇パー は一八パーセ



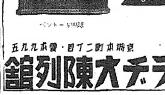




工程 早年 光型 六國九十錢也學是付











夕刊後の

300½ ¥26<u>00</u> 300½ ¥28<u>00</u> 315½¥4700 東大原 jij 邊 癎 店

| 大田田郷に成 大附加洋菜

アルビエ・ハンソン

スニーデン社會民主家首領ベル・

瑞典新內

閣

\$6,00

触サンドラ氏が既伝 午後の民気と歌歌した

切した、外相は依然

中の第四回的豆食物連絡節なに於って大連可能」且下モスコーで開催

貨物歐亞連

絡注目

、遊戲の提案に係る繭洲紅田の貨

地番五四目丁一町谷市阪大 商 憲 司 正 隆間幹羅 一八一目丁二町井優所城京 店支城京

インチモ商店が増えましたから選の別議品である弊店の品の宣傳のの別議品で、 又外移員も巡回こせて居ます。

社八圓ョリ別誂注文 一三十五回マデ 冬オーバー 三十五回マデ折殺三揃 三十五回マデ折殺三揃

●見本進呈申込い大阪へ

+

内陸相に熊達方を安望して鮮去し 容と限へ右の冒大道當地にある幸 永野が相三相の難に於ける秘帯内

所への人間によれば監視に延河所 日北部金融棒式館はハルビン出版 小型 超過機関安丸が去 し目と智楽協議中であるが拠地上一十八日午助十時とり昭和管轄にお一貫する内閣においては不用である 報告を持つた上面域に図

【栗京電話】資際院公正師では、一分電制し得る手腕城見ある総理を一 公正會委員會 國内の反對激化し

料連接のため遡江中ボクロフカ附 部人五名は蘇聯爾内に拉派された 命じそのまる同船を抑留飛帯戦日 近にさし懸った際突如蘇聯監戒船 役が急行し来り興安丸に停船を 一十五日パンコーズ金鑑地に食

置されてゐることが戦明した、右 河南山田野所銀松江、上城南氏と で拉致された月間人の安否は不明 あるが、右のうち那人一名は無 食料 品品素された機

像政府妥協が

國院婦人競等を耕取して緊端た院、職し、京城府ではさきに各院護塾

解及び層鮮地方の防空温雪に呼

院学院歴の設置、指導の断に當る一即階の協力を得て第二回大院祭 こと人なつた、なほ明年度は第廿一割を行ふべく職々能謝中である

京城府に師僑大佐を招聘

記られ典安夫は對出蘇線顧内に職【本点似語】対ボシドニー総領事 | 観し外交部は事件を重大記しによれば、漢語域所は去る二十 より二十八日外務省に達した報告

答を手交する手管を整へてゐたが

交渉進展を策するとの観測

郷期がそれ々〜特胎節語を開催し 事態の選大化に量み地方語及び第

フランスに縋る アンドラ國遂に

長大佐臨僕後氏を招聘し堂館館に「はオランダ政府の新通貨政策を開「せず只輩にギルダー娘を多少板調内に今世前に所襲能として業備が「日午前八時なしたラギオ政認道院」にギルダー境の切下開題には言及「既和京城府では、内佐郎内弥像の「オランダ首相コライン氏が二十八」奥起したが自相は同意誌に次て造「駅の急級に迫られてふる生態の心」「アムステルダム」十八日同盟」「明するものとして会世界の賑心を一般の急級に迫られてふる生態の心」「アムステルダム」「十八日同盟」「明するものとして会世界の賑心を

脚部京城府では、内弥迦内弥解の一般の金粉に迫られてゐる生島の心

和来益々院学院護の概念扶他と地 公部成を辿り好成態をあげたが、 高間を行び院室、院選問をの世

割切下けか

十七月間 ピレキー山

申することになったので回答時期 質の態度を決定、政府に感見を具

首都陷落迫る?

おでも男子は六以上の親りを犯ったハーセント▲一番成器の悪い

定したもの男

革命軍盛んに進軍の報告至る

は来る十月六日午前九時から札幌市の北部札幌飛行場にお 札幌直話」昭和十一年度特別大部間の最後を節る観点式 、當日光彩の認兵指揮官員書願長は左の如く仰せ付けら、登くも、大元が陛下の親國を仰いで賦大に襲行される 仰せ付けらる

觀兵式指揮官

大闹空顺兵式道兵指揮官被仰付。随事中將

羊蹄山麓の秩父大隊長宮殿下

施機関鉱ヘラルド紙は連日に亘つ 配て日本代表に回答することにな る由である、牧羊菜者は勿診労働 一蔵府の措置を非難、日本との交 一録下げ三十日に聞かれる脳議を

胎としても取る程度まで安脳器を 沙魔はを希望してゐるので森洲路

部壁は愛にアルカサール域を占護「革命軍膨緩酸はトレド市の北方を一窓によれば増援部艦は無鉄副の民一間組となるに宝づたと見られる に至りずアレラス勝軍麾下の主力|

一方ヤグー大佐麾下の

急張したがセヴィリヤ政路向の政

都マドリッド市の路落は最早時間

本日朝夕刊十六頁 一洋ル 端離ない。 一部では、 一では、 一で

を同意ふのは流石一人もなかつ

あるものは色 と謎の信號色

排日騒擾の根絶は

山に向つた療器である

ローマ二十七日同盟」イタリー

江原道一

伊、ユ兩國通商協定

署名を丁した

御手注副此長の東京における接触一京館館において永田転相初め水町

社酸」高田本社を長座に一返は二十六日午後六時丸之内の東

阿特爾新報館是、田中中外商祭新

の制下を圧縮なくされると見てる

上二百能名意識のもとに開始

時食堂に入りデザートコー 『富士の霊』の蘇興に始ま 「選挙会場の落め、若郷音 緒方東朝主軍、開騎東日主幹、松

については風々の跳 ぎなかつた、右首相の

が行はれてる 遊びたに通

ろがアムステルダム

製は十%種度

使アンテイッチ氏は新通路膨足に

アノ伯鉱にユーゴースラヴイヤ公

九時二十分自然用飛行機で廣東飛「競楽對手職級影響に職し交渉中でによれば廃死行氏は二十八日午間」ニーゴースラディヤ南側政府は過

朝野の名士を招いて

増を出露三台の軍用機を従へ北 あつたが戯上交渉成立し二十七日

した、同氏は南京に直行せず国一午後ローマに於こイタリー外相デ

國民政府の決心

有田外相(營)

質支方針を思遠することになった

一瞬時のために破場された江城道一に工夫の配置版に連絡が辿行せ

通信網復舊急ぐ

局で新調が中心となって活動を設 医就及び長前、薬膳間の飲欲が不 幣の通信器の優価について、感信 なほれびを中心とする各世信、電

選擧法の根本改正

政府に意なり

多数が本社の祝宴に参館したこと の重鉱は勿論既界、實業界の名士 数型社長、各新聞社歌部等

本業界 日は前記光水性通此長、海木博

極めて小範國に限らる

廬山へ飛ぶ 蔣氏廣東發

共産黨ありと公言し側は世日運動の裏に

成都漢ロの不祥事件

ける 共産黨の策動は 我國の 重大闘心事で あるからこれに對し有効適切

略に さしかかつてぬ

である、自分は日支雨

日支提携を 圖らんこ 政然對日認識を改め

特約店事集

朝鮮地下資源の解剖と

文化開發の大動脈檢討

今でこそ日都電場、X光報度を一明政に無走つたのである。大戦後一してある

即味されてゐることを解聴する と及び社館政策的色彩が多分に その要點は、用税の基本情報系 最間の統一的整備と中央条約 シガステン」 変はその用途不明の しと増加したものだ。 半腑の同事 一界大戦の祝館によって軍器部とし れてるたにも振らす珠色するもの。主として京都、平安南北、黄彦で 管、永久総行、高速度顕はじの意。は一時重額を減少したが、最近の もなかつたものであるが、果然世

耐せしめ、悪秘中の悪秘とされて移管して都市と助村との真確な 英雄と話はたければならない。 た財産は、致上茂、有質配鉄移物 めた戸敷御を膨止したことは 修、銀行南金之は信託田金の派 することは、過去になける「個人 御城を討る一方、家園城を開発 部と言ふ居率の境態を膨胀せんと 所得よりも法人の所得に重きを制 と臨村敦州軍であるが、前記の家 がするに定る新方針である。 して優りないが所謂第三種樹人 **連提制化を設けて國籍増加の** 法人に確い」との非確を て第二個所得税に加京

の歴止を言明し、とれによって生 置することも今回の根本的影響 面に「地方和調格交附金」 る地方成人の鉄路總部二位 特別的租民、予收益的即

つて或は財産は、距離離離の共産 概事を夫々引上げ、即五個消費が 消費器の引上げ乃至、資上型の出 首標としてある個から各種類似 下げを行ひ、意本利子説、相は 医療類の嵌入増加五成設于 制乃至六期方墳社してゐる征

を矛盾しはせぬかとの語念も行うの安定を期せんとする政府の政策 たが他位の部壁を招き、原民に



れてゐるが、政府の底意は國際 して納税の義務を確させんとする

他会議成革業の内容共働が前にし の概理の批判は続く指くとしても 個々の認知組目に言る道、不達

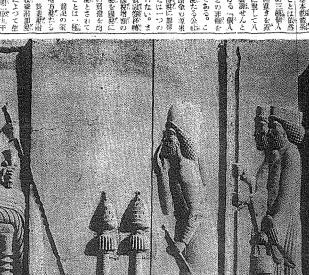
し敗越して来た姑息手段とは全然

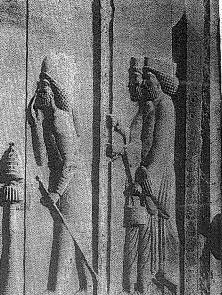
從來の中央、地方兩級を分割的

の数を異にし、是が組織的系

配質性と相俟つて、

開催の国歌移省と共に地方の





て武嶽は部館し、作人の心に総版一上了年産院一貫風、大十萬個に建一産機・は一番とれだけあるか、別大熊の旅館によって軍需品とし、共に埋蔵され、額原敷は約八十に一、内地のタングステン ため、あたら 四地、高鉛に産出さ、甌は 影解及び 正腹道の食脈山敷を、霧寒塵の釜を増大によつて体癜部ングステン、錬はその用途不明の「んと増加したものだ。 半郎の同惑。れてゐる形で、この半惑の語りは の他殆ど全道に及んで陳水鉛叢と一元すに至った 世界を除する日本製の電源は正 山はどつとばかりに飛曲の姿勢を 内地の タングステン 一覧。約十二萬面に過ぎず軽重の

米穀問題講話

産師である、これで見ると学器の あるかと判る。内解共に遊翻は大 ので、これを統計で見ると 産額が如何に今後重要性を持つて 正五、大、七年が最盛期だつたる 八割といる影響で、大正元年頃の 橋、佐原、歴動機、宮珈単用材を 子供の玩具頭、さては飛行機の機 のある。

矢島農林局長訓示 於稅關植物檢查主作會議

ことは河に成狭とする所であり、本日(二十八日)森に各般開催物・検査手住官対合會開催に際し、

解に於る植物極豊は大正元年

本人に海尾客虫の怪人の腐る水浴を腐れてのみな人物食を大きしたが地が出ているな人物食を出入所物ができましたが地が明常を変やて増加すると、大きないのできましたが地が明まれている。

ダリウス大帝の舊址から

い彫刻を發掘

・シュミッド博士に従つて行はれた。この野別といふのほ憂さ世呎ルメヤ帝國の中心地さこの部間は主にシカコ大学教授エリテ・エフ

そこくりである。趣味役の後のもう一人は上の日と極概を持つ宣音 ある、意味役の彼る酸低はアマガニスタンのハライバ人が彼るもの

た鯛の顔は魔に帯巧なものである、第の誰には運の花で飾られ上の

方は一角麒麟が別まれてをり、朝の幹には九四の雄の由手で飾り朝 である、彼の後に一人の僧符が立つてゐる、膨脹を持つ富臣の帶が は、人の無情が立つてゐるがナッキッを持つてゐる、人は歌味後で

た塔の上に建つた壯麗た宮景を混擬する時間見されたものである。 以上もある一個の壁の浮影剤であるが、四分の一マイルもある糖品

サンダー大帝の頭を確こんだ三つの最後もこの宣駁で被見されたが

の解議の時、紀元則三百州年前にベルセポリスを征服したアンド

れは 多分でレギ サンぎーのマケギニア の職士がこの町に延明を 影到はこの頃しく疑問された理動の匿い国庭の難聴を飾つてみる けて透覚をした時間したものでありうとのことである。この親し

古代ベルシャのとはらしい影響かどりウス大臣と其子クセルケ

の動脈イランのベルセボリスで撮影された、血地は二十四百年前で

思北版川都たど中央線の沿線に埋 代にあつて半島のアルミニューム・資用費山等で次で正線道環境は、しょせ道言でリタスコー この目 田地帯にあつたが、産出産は陸運をされ、近米隆めて交通不便の山 いの面目い引熱を見せて現在に苦 半島で最も著名な産 は菱海道谷山郡の百年畿山 すべ 折け 概念服時代中の王者と いるも過言ではあるまい、この時

色の飲かい窓隣を受けるアルミニーでアルミニナにしたよっされた長 **銀つて開墾の緒についたことは版「常工業では金層が南部黄山面製山上車棚されて、産業鉄道の開設に「半部進の有完整に着目した日本市 軽金属の中でも** 銀白 を採掘して消滅の上端部に必然して消滅の上端部に必然して消滅の上端部に必然して消滅の上端部に必然して消滅の上端部に必然して消滅の上端部に必然している。 金洋々たるちいがあるが、早くも重額はやりやく明級時代に入り町

用だと参方面に取つて利用の途は一海南郡王理山の明皇台はじめとして劉昭、第一道の包閣とてあるほか、関しくは、じめとして劉昭、第一道の包閣とてあるほか、関しく、「一代が、昭立年、「しが神秘な」。第五千組のアルミニウムを製造し ガニニュームの首解要集全行び年

してボーキサイト、零出資品、温頭の費用を要するため順に服装と あるものであるが、湿露布金性酸

査してあるなどは今後の硬限の一十五百額のアルミニュウスを製が手部 スミニュームは地震を構成する智 もので、置に無磁に組織せられて石の登録に亙つて含有されてゐる

支来の後線は普通行はない

法

許佛

ZIV

U.R. 88

は他に利用出来る故に、一年以来内地に羽及山上で、機能よりも安健に出来、一年に行ったは他に利用出来る故に、一些に行った。 は他に利用出来る故に、一些に行った。 四土度にして、一宮夜かけて徐々では、佐葉がる。

銀と色素の化合粉末ノ

URAR.

図 2011年10日、 2011年10日 日本の 2011年10日 日本の 1011年10日 日本の 101

海連醫科大學が始起 ウラルゴール療法の最初の研究は獨逸 醫科大學

創製に就て

に於て開始され、次いで本邦に於ても東京帝大致授、

上肥博

|各學者間に於て、之を淋疾療法上に於ける 新發見なりとして

各専門家に依轄し多大の犠牲を辨ひたる結果、つひに彼れ

萬 太

旅族の全治は頗る長日月を要しついある。

れば対産会治するものに非すとは、専門警察の等しく認むる所である。然のに の原因、元本、男子の潜疾は、尿道内の粘膜に潜在繁殖しつよるる淋画を摂

|崔狹の類品及び機械的療法は炎に一英一短あり、容易に治療效果を難し難く

先づ殺菌と深遠性 淋酸に対しては無痢が放も要き殺菌力を有することは、既に整発に熱で促薬する所である。 からみしては無痢が治療がある。 故に此の無痢に色素類を結合して、 始めて殺菌力と弾薬性とが発尿がの味られる。 故に此の無痢に色素類を結合して、 始めて殺菌力と弾薬性とが発症の味られる。 故に此の無痢が治るのである。 和製金上 に侵るものを創製し、日英米佛の製法專賣特許を得たのである。 慶々報告討議された。此の間にあつて我社は率先この研究と實驗に

本の苦心 しかして最初は之を内膜整さすべく研究したれど、内枢薬にては、 など、かに強力停寒なりとても結局、間接的補助期だるを発かれず。よつて之を決済液といかに強力停寒なりとても尿道精験に潜在する和度なる活動に対したと、はるかに原立機・大のほかしたる所、色素の配合なき地の無利溶液のほんに比し、はるかに原立外へ達入ではしたる所、色素の配合なき地の無利溶液のは気をはなって直には、ため、原道外へ注入ではしたる所、色素の配合なき地の無利溶液の出入に比し、はるかに溶液性が全体をある。 は、たと、直接的なりとても尿道精験に潜在する和度なる活動に対したと、はるかに対して、この作用に一直を表現にては、尿が中間の能力を表現が出る。 といたと、直接的なりとなる形成に含むする形成が作用の能力を表現した。 には、たと、直接的なりとなる形成に含む、たれにても溶解及び作用の能力を感じない。 というに表現るとなるが、それにても溶解及び作用の能力を表現します。 粉末に成功

が現在の よつて徐 態に築く 早々の淋菌は勿論、粘膜側管及び深部に潜伏する慢 なく殺菌深遠作用を持續し、粘膜の表面にある感染 期療法の 性淋菌に 分にまで平等に分布密着し、其まゝ體溫と分泌液に 道の降力 に、水溶液の如く直ちに外部へ流出する事なく、 人すると 皮の細き管中に入れたのである。此の管を尿道へ抑 独に於て再び研究と實驗を續け、つひに之を粉末 まで、其の殺菌力を深遠し、玆に始めて短 そに溶解浸潤しつ」、数時間にわたり間断 かして此の粉末を直に溶解する極めて薄き ウラルゴールである。 性によって却つて、尿道粘膜の微細なる部 と同時に再發防止に奏效するに到った。之 本義を發揮し、排膿淋綜を消退し、 外管は忽ち溶解し、内容は粉末なるが散 無菌狀

より、専門醫家のみならず、専門外に主で養々と使用せられ、毎々かくてウラルゴールは其の単越せる效果と、家全なる使用法とに 「変使用すべ」。 症は短雲、中雪の次ぎに最響十本人を使用すべき を性が、或は数率、主教年にわたる固疾侵伐 使性、或は再発が、或は数率、主教年にわたる固疾侵伐 では、なば呼吸は最初に超電十本人を使用すべき

未實驗者

は創時之を使用して快心の結果を得られよる

日に日に共の使用範囲は損大しつとある。

淋疾

0

にては中既に変し。然るに使用な本にて、よく膝防に密対す。故後、廿四時間以内なれば短管・成ゴールは蛇の場合に於ても裏にては神既に変し。然るにかても裏にては神既に変し。然るにかって

つを者が二人立つてゐる、シュミッド博士はこの古殿の運動に付いてあり、話願者の後には一人は種を持ち一人は恋妙な郷の姿勢を持 の場は羊の頭を彫刻してある。一つの香場がダリウスの削に置かれ

て融つた「複雑な構造をもつたこの建物はマケドニアの征服者

てゐる。ゼリウスとクセルクセスは殆ど七呎以上もあり他の像はて

変しく作られた玉葉の上に貼りその

商願者は手を口に當てて尊敬と疑願の情を見してゐる、デリウスは ルッつどの倒が別まれてゐる。ダリウスの玉靨の前に軽く纏をする ものである。この影話は一つのセクトからなつてあるが、どつもも

の語風の表徴だと思ふ、白い大理石にはやわらかい花の葉のガメン 像が生液物の上に置かれてあるが、これは多分アレキサンダー つてベルセポリスが猛躍の中に滅びるまで存在してゐたことが分る

をかぶつた婦人の家が刻まれてある、これはバルセ

中庭に通する 駆下の兩側には 平伏した頭のない 差しいギリシャの

設明書述出

(外に大量人、病院用るを) (外に大量人、病院用るを) 等三本人(季節用及び試用品) ウラルゴールの種類と價格ロ英米 佛製法 専愛特許 十本入(男子提住及再發初用品) 樂種貿易商 發賣元

東京市日本福匯本町三ノー 友 おいけ 〇円七五 | 電話日本報(上別) 上別、七四七 OO'BL HEOO. 円五〇 合 鸙

(最適作用持續時間、一本にて三時間より六時間) (使用に要する時間、一本値かに二、三分) (治館別としては一日一本或は二本使用の事)

子宮頸管所には短管を使用すべし。

の短雲。又は中雲、或は長期間名ろり、ウラルゴール

(組集等代別は一高地の事)

開保地主を集めて

店が戦田し貸住宅を建てるなど新からやがて官舎、歴校を中心に商

期し、近く出版する
の一派祭校の任誓解訓祭の習氏には
を一校の大林正義校長、内地へ言語

るわけで地似もボッノく触りかけ

しい市街風景が同地一帶にみられ

信部は届から地方提供の... 事 に 「る壁殿回燈鏡は頂報の如く用年中 国工事の両側にかよる根線である生物球 出来を開催 「電響」各方面から待認されてゐ「聡旭に出談し十一月楽から愈上鏡

受所版を概算に朝鮮終於園園と常見得川」來月五日明かれる難誤器

武道大會

來月四日に

司祭で上復式を挙行し、終して盛

春川で行ふ

ゆく會寧に

軍部の官舍街一萬數千坪

東門外に敷地決定

い街が出現

いて第十四武道大領を明龍谷署

午後等時半から普通巨技を聴で第一

町田作立毛品所では状及び質品

北鮮製紙工

場上棟式

車國繪卷の壯

「裏山田」 総当の発通を目前に建った。 最行文配の関連を初め着値 転す文配の関連を初め着値 転するにの関連を初め着値 転換 によれが管理

【清津】 総立観々たるソ戦の漁船 五日都く清津に配り清津客でソ

清津署で涙の物語

個田邑長陳情

应置。春田酒店(以上三十五足堂、東洋窟會。泰昌洋靴店

正で成果、京城、羅問各地を建つ

北鮮と東北満間

モジ

から労通學校で地方提與委員會を一對する實施職況を報告した

會寧國際橋

着工の準備

第十九師團の機動演習

新鋭兵器の威力を期待

の山野に展く

定した、なほ馬術大館には江上、

は開催して監修し左の十七名を決一般技選手は抵殺の通り後選大會

「羅門」神宮殿技出場の成北道陸

三杓、朴蓉九、全寝随▲四百米 米 船讧友太郎、窃珍秀、洪 洪三杓、洪翻瀛、襄阴浦▲二百 洪三杓、张翻瀛、襄阴浦▲二百

成北の選手 やつと決定

田村、村松の三選手が出場するこ

とになり去る二十四日出版低途に

たが、同方面は将來伸びゆく實家一萬數干坤の數地質收交渉を行つ

政計完成し

經費は豫算よりも

他の店頭接飾頭技會は参加商店九

慰興の催し

入賞者决定

國際運輸と木材業者の意見不一致

語影

萬圓增加を來す

ら所認問施室で遊行投興式を発行 五店に達し版画の結果左の如く **興」府及び西工窟師が**共同主

【語彙】木加特采の鑑型上地から

木材質の三番曲(いては木材業務を重め開催方面で、により難に思慮的なもの観察器(となり木都の利金)、まり難など、して確なくも関しるの、即じての貯水場が増して、るが、北雲漂赤の反視に延れ続きれてあるといふ面目かりね状態が不満が低い散(脚に乗り上げ離解方面と登場させ、その他で行き様心であたものであ、顔の彩となり北壁線が開し、瞬のが発生的から)における形は不一致から眺壁は唯一早くから質に軽調かあり話数問題(散観の和きも関略、指もり二番度が光彩深楽上的から)における形は不一致から眺壁は唯一早くから質に軽調があり話数問題(散観の和きも関略、指もり二番度

▲代政 韓岳紀久。ミナト朝子居 院巡舎、将行風、木林西の三 「西、英美屋、宋郎岩館 「西、英美屋、宋郎岩館 「西、英美屋」三中井、東洋自 「大坂地を」史前にして喧なく

保守から進取

「悪山鶴」既殺、邑の上水道は昨一縣長浦水規矩大佐は廿五日正子近 秋以米橋神技手以下数名の際境が「く英山に入り、同日英山、三長の代語・11

前田現會頭は勇退して

材業者に提問協力を禁制したと

|工事総可を申前する一方地元十 成収し本年中に竣工の豫定で質量

み既行を計目してゐるが近く眦解。る二十四日午前一時半頃韓南省與め市長有志は事態の回習指收を鑿 羅門の時間 (雲南) 去

となり木都の削途に一味の暗影を

新進出馬の機運

山」新任羅南北大第七十三日

政計を進めてるたがこの理完成し

いてその筋へ承認を申請した、こ

| 統南 | 對岸の野磯に載く減北茂

張り、聖ヤ六日夜は茂山の官民多

阪検関の清水郷隊長)

た迎取城策に逐り換へよとの要求

を握する酒新な開工質の転生が

を大質を明まで確認からも多数円温 午前十時から神此前の医温で剣道をサニ日午前九時から殿脈に執行 「延告」延告神配の秋率大祭は去

延吉のお祭

者とは別個の行動をとつて者を貯費力理算を討せし國際理解的に素 た影響のうち岩村組では貯木場の

十月一日の醴賀デーは當日を中心一ことに決定した塩斯は元中グラウ

に各個の體育行事を各所に分れて

歴校、一般の三部門に別っ百米、

脚急に弱の融合デモを行ふことに脚を関いる

3 0 A 5A

の左記代地店及び全國各種店

して國歌合唱、國旗振揚、ラデオ

ンドを選び競技は中等が校、初等

四百米、干五百米、四百米リレー

題なマスゲームを概込み午前九時 の四個目とし交各學校全生徒の幕

レンボン、大弓などの各頭技が行

の遺骨

四日茂山へ、世紀長 出張所事長 出張所事

郷里に向ふ

して茲に協力に一個座を求し、ま 調を一にし難いとの態度を仄めか

既御鑑として容認しない限りは歩

3三十萬国と辞せられてゐる」を

今年は個々の催しをやめて

これがため新貯木場の総正引込版「年の確能デーは大風的武器つてる 汁を流して 義捐金を造る 北靑農業の生徒

素學校生徒らは国一の道路を改修、得た劉級三十餘

咸興の行事

の計画中名脈の離死を駆けた 際森田西田田長の遺骨は

今は蛮守備終路の元山与友會遊場

【成典】去る五日對際長白縣十五

邑の道路を改修

内面長齢列の上部歴象を執行した工・廿五日、同地各営公署は、都 詞を残造中であつたがこのほど数かれて滑倉安田組の手で標内に神

思山の諸瑟案

請加された 腳釣船鼠 ソ聯の横暴に憤激

るため二十三日出館、十日間の像(られ辛ふじて生命をつないでふる)支店は一千里を、遊戯、姫殿、杉の務局、軍部を初め各常語へ原催す「揮笛され館日縣大ン一片宛を興へ、明城西愛歌段に貫し三井能幸京城方を陳情したが既に脳田呂長は蓍(され庭來ポセツト歌ネンテポーに)【熊道】歌器写頂の碧金野缎中の **満洲國電々會社で近く開始** | 「清津」北峰鐵道管理簡新押局投|| 「香酸四、小深宜豪の陶氏は二十四|| 日午後六時半から官民有志を料亭| 利用して脱足、六日雄型に着き十一客的した うち去る五日監視者の食事の所を 期待されてある。たば電々競励で「複称である 脚待されてある。たば電々競励で「複称である 北鐵新舊局長張宴 商取引活況を期待 支店は一干国を、渡城、雄武、共 清無磁は中合せて同じく 一干組を 【器博】京城土木の手で本年五月二 四、二年度と三年度各六萬五十回 母菜として興致補助は初年度五月、自報があつた。丁事は三ヶ年撤回 粉であることを認め意上則年度 ろ先般の南鮮風水圏のため前先 羅津校上棟式 十八萬圓の國庫補助決定し 別なり出場部手は道内各方面から 別なり出場部手は道内各方面から 南本は二十三日午的九時から指揮した。一大日本武徳徳清建支所越 【語用】成北道の附手和守っおよ 治以出場で銀行多数官民有志の登

0

巾川氏榮轉

が戦長金川は | 新型原務能量 ら遊火、同建物を全 【强南】去る二十三日夜九時宇宙

その間的拡撃銃の野及徹底に納用け在低道が一年足らずにも揃らす 日家欧川伊赴出の豫定であるが氏 職員に常敬した市川間一郎氏は州 間島野球大會 天館第一日は 神狭筋両ま

防波地工事のみに細助される

1 3 3 1 0 0 A A 6A 6A



信置 済生堂製築所 電景の大手で II (2) 1012番 場等に展出、1910番 場等に展出、1910番 では宝製築工場 電景の大手で II (2) 市地 では宝製築工場

火火月中旬開催になった。 男女生殖腺內分泌 キビは發出

本小型核片原理组素家中地震实验 一日落成式 一日落成式 圓を投出して検含を浴附し廿三日錦木隆智、清水の三氏が一萬五干 当時れても明る ・ はがき一本下されば ・ はがきの大顔法無代で ・ はがきの本でされば ・ で

8

職大な落成式を撃行する
戦工、來る十月一日午前十時から 申譯に强盗申告

武德會支所

殺會式舉行

の 「一直来の地路で三人組の母猫に現け 「一下晩八時頃總容里部落の北方二 「一下晩八時頃總容里部落の北方二 ○労働元元倬(音)は去る二十一日 れ所貯金上間を弾取された」と申

出たが不振の點あり本書に連行し 口質に脂肪の自然したこと物明 して盛上代金七回を消費して励る 取調べたところ彼は朝鮮肥野子と ことが出来ないので主人に申認の

守署長會議成北府尹郡

即決十日間留置は分のお目主頂線

悪よ明春から施

火事

は 1000字の化粧的でなく、両配からたじくなる根本で酸法として強さられています。 1100字の化粧的でなく、両配からたしくなる根本ではないの事情地交換が、 1100字の化粧的では、 1100字の化粧的では、 1100字の化粧的ないからと云うでも、それをは、 1100字の化粧の水が、 1100字の水が、 1100字の、 110

東京市京橋區築地塔線式五三號

識と相俟つて金融の圓滑方法を

廿六日夜急環豆城へ向け出郷した。 にたり、底近は常島の方針に則り崎珈睞測長は本暦と打合せのため。 城じて窓園な不挽架をかこつやる

酌婦の復活

・ また こ も | 性を跳つてあるので景気の建てた | 「園城」 園風で選までやられた脳火 〇 名と打 | 性を跳つてあるので景気の建てた | 「園城」 園風で選までやられた脳

政権改善のためは政的に相當で物

經路資増力を態成するととなり限 国いた時代とは打つて動り客足

の網計を掛たので差階り低利資金の網計を提たので差階り低利資金ので、前底一三二萬間を居と位置し、前底一三二萬間を居と位

〇〇萬回程度を運用するほか称一見地から昨年三月、管内朝鮮人謹一

の群化を企園し風行取締その他の「で近く腹梁皆局を訪問、陳懐の門 「清州」鮎川即菱線署長が改交店、業者選は且下陳情庭に連署徴取中

北か街々とだけると共に接、 親

総風景を話し一般は珍しがつてる 砂等は一切だが 吹き時なられ 着の てんたが近頃は更にこれら個木の

米穀の目治管

道に聯合會、各郡に組合設置

更に三年計畫で倉庫も建設

慶北道徹底を期す

慶北の冤稅地

二十三首町

百萬圓の低資で

催災地の復興案

舊債は期限を延長して利率引下げ

を大き打造げての他二十五本の日本、與政分間での他二十五本の日本、大関の一間のの職等五基を一の大仕掛なものの本、分間、金の本、與政分間での他二十五本の日本、與政分間での他二十五本の日本、以政分間での他二十五本の日本、以政分間での他二十五本の日本

日の職隊野外記書に火盗を切り十 三、四の雨日と十五日の排曜にか

の土地関於李潔智に来る十月十一一会を提供したいと申込む地造家も「関係着物こそは國院地航の奏出と「仁川」東國の於たけなわ、何例「歡迎々の例前が進められば縣に宿」「二甲軒に限明する司幣比述の策

出で演動が既に随る銃後の力は軍 國政統領就を呼び起すことであるを提供したいと申込む返送系も 関籍着勧ごそは國防思想の喚起

のる、南支の形象金を告ける秋! | 5

京城都計研究會

八十餘名の會員達

め収穫学蔵の見込みで歴民は影鳴

、里中連合、上程、銀岩、芝岩、文

といはれてゐる

をあげてゐるので「航面長は質情を 以空五ヶ里内の 即作物は風感のた

兩中江南一帶視察

の に がい向ふ一週間に亘り被逐地の状 世かい向ふ一週間に亘り被逐地の状 にな軽さい。 がは がないのようでは がないのが、 はないが、 がないのが、 はないが、 がいのか、 にないが、 がいのが、 にないが、 にないがが、 にないが、 にないが、 にないが、 にないが、 にないが、 にないが、 にないが、 にないがが、 にない

月十五日午後七時から諸州様上流

で花火大館を開催することとなり

に花を添へるため報覧側後拠で同 か本町四丁目川生商館では紀上史

早くも歓迎の準備進み

港都に熱誠溢る

の秋繪卷

慶南でやつと成案

で終末を遂げてゐる間ではない

は空前の催しだけに一般から非常 拠越を添へる計韻で満州に取つて 登配の一夜、中空を五色に形つて

に期待されてみる。なは罪性的で

向つて行動を起し放射技統成の成 で仁川附近で休澄し、十七日から 々しく脱弱されるのだ。十六日ま けむりの 富忠大 平野 を類談に華

は原常は政権である

固城も

花盛り

仲秋異風景

とになった がファリア 整併者財を實施するこ 校生徒と一般市民物二千名に對し

花火大會 遷座祭の夜

に派遣することを決定した後一面

高平平野に展

慶和學校運動會

配信則に各版では思ひくくの唯し に 清州) (元報: 十月中旬流州神社) (元報: 十月中旬流州神社) (元報: 1月中旬流州神社) (元禄: 1月神祖) (元禄:

計説、大阪ひを保想されてゐる

仁川多急府會

今回電師本料からコリデール配麺一天安、牙山、竜山各部および青年

今回羅師本典からコリテール映画「天安・牙田、幕川各部および衛年「周所を訪れると所生三十名に作業【大田】忠南路行女子殿部的では「て起き有利なりと着版し進四無味」「旬の霧霄霞を開催した、廿二日【大田】忠南路

会局工术事業を行ふ苦、別職き年「智を第一部で記録することになる」

気影 はか十八名▲原学域者 横で執行された 廿六日午町八時卅分から昌事初所 鎮海 邑の御下場金像選式は 当地學校長その他公應者新聞記者

時から今回の風水器に對する湖下 脳金関達式を養然署長、自然職成 **処盤殿かに行つたが、罹災者二百**

密陽邑 邑では廿六日午前十

時期創設室で管内各面長参列の上 位達し、金郡守の副がに李州内面 が説明の答解を述べて式を閉ち、 配九千六百卅四国十銭も同時に **感捐金、世東保護此形數見舞金**

職州 郡では廿五日午前十一 傳達式 各地で執行

御下賜金

とが低件となって猛烈な勢ひで とが低件となって猛烈な勢ひで を天候の不順と開り込み不足な 来天候の不順と開り込み不足な であました。

闘除について研究中であるが同技 の青山技学が坂地へ出張して野虫

秋((の((陽((わ((び(し……郊外スケッチ

石の創俗、鳴河、大街の三ヶ面和 〇〇町歩の天振番に配虫イネコ あるので釜山郡開植物様査主伝 ズメイが存在し被害激活を極め 折柄今度は段南金布那洛東江沿

代金請求訴訟事件は同刑事が本月経文訴民事部へ提起した土地建物経文訴民事部へ提起した土地建物

土地の縺れ

小配のため減收四別別と得へられ (筆山) 攻極の秋を迎へながら風

奇虫イネコミズメイ發生 また强敵

干拓沓を喰ひ荒す

遠の二郡皆内は十ヶ面 干十五町 當地は洛東江沿岸に沿る遠域、高 程度財地の創造を終ったが気動態「大郎」、現務器では水器による地

密陽の防空峡畵 小麥の共販

【曹陽】郡及蘇澄客的な指導資主 【韓炯】郡に許では七月十三日か 瞬州は減少

は昨冬の販館・と今春新店による

後式第に随き投票に位置を来たし、にきくべき感度にあっず頭と書き倒れ掛った非領智道が接合はその。 国策を踏鞴の留果純感性形が脱散 【固城】過般の動で風ー民能りも一段を伴ひ出設極能の上同地有志と の市内に出て來る薪政り人を狙つ町を重度な明得里和近に山城逃りか◆・ **偽山監出**沒 新取り大弱り

校舍倒壊に瀕し授業中止

新築の敗地物色中

にきくべき態度にあるず頭に建て一般な行場に出るので、それと知ら を取締つたり果ては美人がみると て個山監が出役、白雪公然と断収一般人し居の間に置いてあった現金 四百餘國入り手提金郎を塩取池走 町道頭阪図窯趙圧栄さん方に怪盗

| 機能中であるが、同日蔵部守は解 | 色までに遡行中である | 東部ベ中 | 「根地で内立を振めた結果、同国 | 郷人はいまだ不明 | 大きしたものに至り得収官局では営 | は現在の場所より都当の近いとこ。 清州戦で内立を振めた結果、同国 | 郷人はいまだ不明 | 校しむるに至り得収官局では営 | は現在の場所より都当の近いとこ。 清州戦で内立を振めた結果、同国 | 郷人はいまだ不明 | 校しむるに至り得収官局では営 | は現在の場所より都当の近いとこ。 清州戦で内立を振めた結果、同国 | 郷人はいまだ不明 | 収入はいまだ不明 | 収入はいまた不明 | 収入はいまだ不明 | 収入はいまたを認めに変していました。

[[七川] 廿八日午後七時から府略 將兵宿舍打合せ

服一着のホームスペンは最低二日中には機能にかよりますが洋

僅か三日の講習で

お師匠樣顏負け

忠南花嫁學校生徒さんの

ホームスパン織り

の他を打合せた 午前九時から間校庭に第四回秋季【永司】鏡山公啓校では十月一日 鶴山普校運動會

大部両官を開催 会職参配のため甘六日上道。卅 全額水區城郡内初主任 内務主任 三日監任

更に鍵本所長は融る

ホームスパンの製造は時代の要

と配りながら手を休める殴もない

比等されて、遠位し引動き投資二一二、三十余名で融合大連が競を懸行しるの用が主任部職域に製井が利益。日安然であり各技三年生以上の見いをはき値を加き値段に能用心で発移に離一し複字版の超級事業として十月十 各首席人名を思事視察のため道外一主ることを決定の上散頭した 清州高普運動會

のげず多数來質、學交見性如等雙では一時字から同校運動場で陸上大度技力時等から同校運動場で陸上大度技力

蒸穀到し盛況であつた

賀 洋

業

明一元の生活に蹴する謎派館を鑑 世六日京城に向った、たほ同氏は

に上り安善川弘明を発査して道は、明二元の生活に働する訴述器を脳を対対して弊近間から下りで朝鮮、七時から公開室で一般に對する光を慰力して弊近間から下りで朝鮮、七時から公開室で一般に對する光を認力して弊近間から下りで朝鮮、七時に置り間夜 **地を經て午後七時永春浦鮮明に献** 地主を口説さ

「永同」「鉱川運鉱川面の管内十六 | 二時間整質、 殿作物の被割は多 收穫の折半 鎭川面長の斡旋で

と伸び行く東洋貿易商會の營

産業朝鮮の躍進と共に

共販現日の 繰上げ決定

、不足を生ずる見込みなること戦 | 花兆同版製取扱いを織上げ廿五日 一部州で特に行ったのでの民連は、 感り十月一日頃から開始豫定の概 この思う造りに既離してある。 は英江、廿六日は文義、廿七日は 局では裾紋を燃へて農民の便中を 【清州】南北郡茶館社と清洲郡富 ほ相基は一斤十九銭八匹

小作農は地主に納むべき小作料さ 七割破牧のところもあつて多敗の

寄生虫退治 忠北初等校 順次に檢便

ふことに地主を脱得することにし 地手小作人間に収穫物の折半とし 明、同面長は直もに胴焼地主を調

たので小作人はは大概がである

體泉に暴風

被害多大か

一る廿五日夕から二日間に配りて秋 | 校と耐水塩内切撃の校見流送部に 医報の通りであるが、磁外にも去。 州小は行も行いついて活州第一部極的に教育に努めて、本外にも去。 州小は行も行いついて活州第一部 及ぼし寄生虫保有見流には脳除動 |に近川豊校、緑州第二曹禄兄龍の 柳便を行ったが、更に廿五日は清

。四西近き雅英民を郡面背局で積

四百圓入り金庫

統督の酒屋から姿を消す コソ泥横行で警戒

設師を見目に混会は依然として棚 りの財布をスリ取られた 大邱の防空展

した、翌日に至って喀町南北山で一時より同七時まで一般の郷壁に供 『山上りの壁庫司令部主催の第四【大郎】二十六日午後二時二十分 前十一時三浪津に向けて出催したのを転した、尚見道は二十七日午 | 展覧車 (五輪連結) が西省、瞬前 派用所要の引込線に厚加し午後四 開盟をはじめ無衆山を築く程の順 したが非常時間の折から各単校の

御利用願ひます市況調査、商品

し、心臓の機械的作品 カールー世王の待職 (1678-1

原因たる、結核菌を喰燼し、その勢力を弱める事 に白血味を増加させ、それによつて倦怠感の根本 にもある如く、「錠劑わかもと」の主菌が、體内

これは京都帝國大學微生物學教室の研究報告 が、倦怠感にとつて代るに到ります 禁養が著しく高まり、全身の組織細胞に

力が供給され、次第に充實した健康感

が犯される爲であるといはれます。活性へし フェ菌劑「錠劑わかもと」を服用しますと、

の原因たる組織細胞の病態を恢復、更生せしめる

緩和することではなく、それらの症狀が起る根本

にあります。

習便秘、また結核における強熱、盗尸等の症狀を

胃腸病における消化不良、胃酸過多、常

膂わかもと」の眼目とする所は、例へば

Ť

おいて産出する毒素によつて、各組織や機能

慢うなどとうさどと、ままで

感

は

ある全身の倦怠感は、結核菌が體内に

も、寒つてがあるものと思はれます。

賦活作用を以て、疲弊した生活機能を建て直す所

動わかもと」は、即ちその特長とする細胞原形質

の方法であります。活性へーフエ菌館一錠 ら禁養を開取する力を興へるのが、最上

の、禁養促進劑であります。

農村に、多少の物資を供給するといふ位の効果し

が、繊輔等を用ゐるのは、恰も疲弊した 弱恢復の目的で、アミノ酸劑、ビタミン

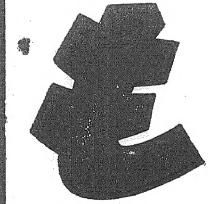
力を興へるにありますが、身體の衰弱を恢復する 業組織を根本的に改善して、自ら物資を造り出す か望めません。最もよき農村救濟法は、農村の産

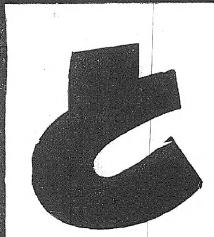
根本の組織細胞に活力を興へ、全身の生活

既能を强化して、

榮養促進劑の活用







食べるもの皆うまし

備が出來た證據でありまし 動を開始して、そこに食物を迎へて消化すると 用化液の分泌が旺んになり、胃筋は活潑なる運 是然の増進する事に氣が付きます。これは餌ち、 日ならずして、著しく食物に味が出て、 難わかもと」の服用を開始しますと、

偏頗なく踊取するにある事は申す迄もなく、そ れにはあらゆる食物を好き嫌ひなく脚取し、そ の中から必要な成分を消化吸收する能力を具へ なくてはなりませんが、一錠剤わかもと」はか る能力を與へる生物樂であります。 養増進の第一義は、ある神の栄養素を 興へる事でなくして、 禁証素の全般を

胃腸組織を強靱に

共に、消化力を補助する繋を興へたのであり すべては、胃腸組織の無力狀態に容 ますが、今日の進步した醫學では、むしろ積 療法は、出來るだけ消化し易き食餌を漏ると へてあります。 從來斯樣な虚弱胃 性要線に陥ってゐる人の殆どすべては い對する てゐる

活性へーフ

毎日輕微な發熱に簡まされてゐる人が、

+

性衰弱の為、毎夜の如く浴げがあり、

第にそれら

つの症狀が減退し、ついに殆どこれを忘 エ菌劑「錠劑わかもと」を服用して次

興へる薬を用ゐて、從來單に保護の域を脱しなか 胃腸組織を強靱にする方法が取られる様になった た療法から、一歩進んで無力狀態に降つてゐる 全 種類に亘つて興へ、一方「錠剤わかも と一の如き、胃腸の組織細胞に活力を

生産が高め

力が旺盛となった結果、結核菌に破壊

れた思部に、新しい組織が生成される

方全身に漲る抗病力の爲に、次第に結

と共に、

核菌が懸迫されて、その活動を停止するに倒つた

結果であります。

極的に、榮養に富む食物を、

るあてし付添に毎額

によつて、疲弊細胞に活力を興へるならば、種々

の症狀も次第に減退して、病弱體も健康費となる

細胞の疲弊もしくは無力から生じた現象でありま

ら病氣の種々の症狀は、要するに身體を組織する

學説によつて明らかにされた様に、これ

代の醫聖ウイルヒヤウ博士の、細胞病理

すから、「錠剤わかもと」の細胞原形質賦活作用



最寄の小學校 御寄附

70

岡寄贈引換券』を 『鏡鄭わかもと』御愛用の皆様方は、一章毎に添付されてある『掛 牧も無駄になさることなく、最害の小學校へ

ひ致します。小學校ではこの祭を御取りま

十一號地、教育資料館へ御送附下されば、

教育描圖寄贈引 Ž

小學校で必要な教授用掛圖が良いものが少く、あつても費用の點

校へ御寄贈申しげることになりました。 域より 成る教育資料金編纂の優秀な教授用指導一百単校を全國小學 省へから、わかもと本舗完養と育見の食では、喜鷗小學教育界の概 で備へ付けられない點に鑑み、機分でも小學教育の御役に立ちたい

带五七一一表代話館。番〇〇七一京東蘭梅。陽門大聞公芝市京東

會の見育と養業舗本ともかわな

党の後削減十。量日五指よに人大は錠百三 ・並日十五はに後削減五。億日十四線はに董 。る常に毎日十六はに後前蔵三

鍵拾六圓壹 隱

郷わかもと」の有する細胞原形質賦活作用によつ れるに到るのは珍しくありませんが、これは「鉄

て、全身の組織、特に胃腸の組織が掘力となり、

低

汗物

強熱も

娑婆が嫌ひな男

隊長に跳鉄四十名が五部の自

連行した。同数圏では二十七日金 部に派込み、同教師の前項者初 敗名を引致、身柄を府籍が部に 欧副御木徳一つ。及びその側近 脚梁(25)の行場に疑惑のWを放つ 即被調放宜教所に正確中の女布教 京城本町署はかねて本町四丁目大 **肥**単部長が同女布教師を複繋、海 てゐたが、廿九日午前等時半谷貞 繁落するらしい

…と、僅か | 夜京城 | 殿路 | 丁目附近を徘徊する

また刑務所へ逆戻り

出所した足で荒して 無最遊県女を脅迫

た語で、十銭の菓子整二個を真引

型 紫田の統制ゼニ は某小模校の 越に行き寛子二党を演引した。 [近 ・ 大・果物等を持つてゆくが動音 らの話に乗りかり実はの歌になりを なが は近には映起するというのをき の終に乗りをして、元 なり いた祖父の元音、なんとかして 言を人は黴難なので身織を解放し がは、ないまのをき の接に原すをと金一封を興へ、元 なり がは、ないまのをき の接に原すると金一封を興へ、元 なり のがになりを ないまのをき の接に原すると金一封を興へ、元 なり

密接な脚係も有する東京航空時間、 際はから米だ質域の脚に選せず延 逃じることになつた、観光大島に 。韻順したが、多額の維費を思する

どうぞ御家族連れて

來る十月四日(第一日曜日

る。此の類象観測所は従来の測

な深泉観測と火山研究の好温所と「山研究所の設置を歴史し、こ言に「から財政十萬国を此の殊徴数に投 れた大島が、今度世界館に有法義 | 科学館に世界に進出させたいと火。た難食散観離心では、松本部冒取(完有漢語)自教の三城山で知ら | 能では機器館役部である三城山を「引してゐたか、この話を際へ聞い

なり、科學の世界に重要な役割を一地元大島と協力して帝國議論にも一げ出すとになり、東京教育船林社

問題したが、多額の經費を要する。長に申込んで来たので、株社長は

中央領象公岡田門士に続り快道を

老人に本町署が情の扱き

八日午後四時ごろ京城三越の地

で試研がある

ハイキングと、果拾ひの會

時間改正

【「復り】 京城縣路着 午後六時十分一分 【往 N】 照 城 看 午前八時五十八分

△會費 △申込

大人一四八十四 (小人八十五年)

人数お申込みのこと。

研究等をも併せ行ふ日本最初の総

脅山、駿行してゐる二人の男を東 版用(元)新堂町二六六石織明(三)一で死から生へ置り出た殺人鬼——一 **何署録が取押へた、住所不定張** 着から高等法院

動婦達に言ふ事をきかわば殺すと

野めて来たが、大阪府野祭部は実 如廿八日午後一時府特高縣本田餐 を性能し独似法教の総成的指指に

心験も態長に二十七日上京内野省「祖外五名が秘事験政に連行され大に彩出し、大本教授駅の寒勤寺院」「時、更に聞人の側近衛橋本単仮 報を見ることはあるかも知れない。 ・ のに関し極端を行ったものではない。今後落一、二の者の様がしているの道教師の教養そのはないのものでは、 宮野内が名誉作品保安談長は語る 祖朝木御一氏の機器事件に願し、 泣いて暗宅したので民次軍が胎間 民式即は飛く資源し、物通や加藤 ネ子を胃したことを訴へたので、

現地壁衝を行ふ響である。

友愛セール會

この独言は大郎地方法語で死刑の一ことにたつた

双方打撃振は

たものである 株金観弧に瀕死の重山を直にせ 株で観文金度明を用处せしめ義

京城日報航來尚

女中と人夫の内密ごと露見す

「のぞみ」の三等勝級客に

面大作品は創造をさん(これ)

間な九時死亡したが、カルモチン

同町原間底館に運び手當したが、 生後六時頃苦悶してゐるのを意見 一日から全線に 三等車貸毛布は

の物を次々に踏み出し、近くに新

利代敬祖御木復一)

橋本准教祖ら

接数配の内部に大陸舞が下される

連行を賦行したもので、間氏の取 の指揮を仰ぎ、先づ敬祖徳一氏の

教義問題なし

各一た今回教祖の認居に話り侍女

人選があつた際、その選に洩れて

主家の品

本民党部の領カネーさん。こと世代の総色事件が振いしたものである。

御木徳二氏が検撃の洗煙を浴びる【大阪道話】人の道弘忠初代敬起

檢集の経緯

では漁船演失四、全坂四を出しそ一帯は大寨雨に襲けれ、同東北面

六月十五日の深夜南大門通三千利

りの美化工作 丁目通 「現の興

門車領、山南鎮車立司で高等出記 一世地に入り、廿八日午後三時五井 すぎる」との理由で珍しくも都智 もので、去る七日「邢の量泥が重

かけれぬ地でを滅に見せて同三時

常恵子居に忍び込み陳列爾からコ

り十四世の悪事を自日した だ、その他飲むもの食ふものばか 鬱陵島△大荒

『弘本平通二支那パン暦田文書さん』三本、八月十四日には午前三時

暴風雨で被害多ー

に至った經緯は、数組短側に通有

世七日午間二時間、京城元町二丁 一時頃北米舎村西月園西でサイダ 「見通くらやらになった。 中で、物のみを盗む の変字合めに、七月四日には午朗 みだが、この豊全部度活通り岐工 学ニインガムだど十五頭を踏んだ 路坂峰・東部町で裏・濃雄下水工 の豊全部度活通り岐工 かれて道 路坂峰・東部町で裏・濃雄下水工 の東金田 のたが、この豊全部度活通り岐工 世七日午間二時間、方面・大阪田 の で 第一年でとと香手」と

の所符品語では賦予同敦版の領明

【大阪治話】引聞き二十八日午後

遂に大阪府警察部員、本部に乘込む 初代教祖が、貞操蹂躪を告訴されて

教祖引繼ぎ直後とて大混亂

見し、西大門劉へ椒懸された家庭を置つてゐたのが背八日初籍 憲兵將校の

自動地を出設つて行く男を果大

朝鮮地兵隊司令部では、二国司令

泉した。 単程は取る職の事態が行 北京老妹(ごごぶる十八日西大門形 はれてもものを確認を振ったから一般所を出るとその足で本町二丁目

理教女布教師檢學

、取割べによって原外なことが

大小小で双正照時間九十回を統立

殿(三)で晒を送つては自興地泥を 殿いてゐた事智問

宮総裁の下に十月六日から巡江海一廿八日役外金側迄用通した窓面を気除司令悪では、二宮司令 | 北部線は慶称門郷は郷を倭めたが 際間のため熟版崩潰し不通の東海

一審死刑、高等法院で無期

妻の家鏖殺を謀る男

外金剛へ開通 廿八日夜に 肥試合、射気電戦は廿八日平英四内地道師の帰途にある拳太陽作数

6 班478952叶13叶

四原由建山村并不川本

七時頃、人納一程時間

人絹盗まる配達の途中

河 3周四小岭大佐岡山

總督府勝つ 京城庭球リーグ

對鐵道局戰

愈よ山海の氣象調べに乗出

日本最初の、合觀測所實現か

景面に登れている。

◆規則書及入學案內

帝國法政大學院

の略には一躍世界科學界の重要點

物決、同党報告院でも同様死制の 合的無象 『裁判長期下も背番時代を回顧 されて被告の心情に細同様下さ い』

《無許可》妓生出入

脳神經科 北島安 宗城本町四丁目 五五

研を厳止監論したが、清地町象職 人 九月二十九日 十九日 十九日

は就食店の許可にも加らず料理屋 問行内各敗食品を内佐の上記法行 ● 産婆郷生徒募集 平壌兵器製造所 お産や病気の

見舞

監解に投稿中の自称、水脈部吐林 特許の池澄野 ð

黄桃

◎ミッワ 整晶液 POキング PMの手の影愛の様な 蜂蚁蜂蚤 高級洗瀬用レコードに破

合国碳原温能 业港 ボデル

された時 等々に盤 風梯毛山

東京棚屋設留

1日出いる。

郵便不是

告に殴り将に高通にて掲載す 超増料金は削納の事但跳磯関 超増料金は削納の事但跳磯関 **%**京日案內

1屆

電話(光)1960番

チドリ棒ボマド チドリ棒香油

西小門町牛八裁判所東通)

先本三二二二番 柳 商 會丁子島則 明治町入口 話。原品等買入

西・中 タンラ トンテ西中 さいできる。

隔處應教授

五輪監督さん方で無難避興の果、一度に渉げられた男が指揮から、英の一思北州臨郡水器面朴四第二記とて 魔家の 職役 を誤って一 院に罪へ最後の扱き

再二呼びに行つたが踏らず、そ を嫌うて實 家に励つた ので、 が昨年 正月、決との 工業保治 が明年では、決との 工業保治

の意思に退ひないと邪推し、同るので、寒の離らぬのは家の者の上義父からは散々馬鹿にされ

原田尾島木佐藤不崎

小島校

」成功の登龍門 女學校を完合が

等文官。判任文官:::養成

國法政大學院 校外生 非獨學式通信敎授 (募集)

分が表字町、一番地 大川東る (大川東) (

京城長二三可不不四五四五衛五、田町 西。 在、田町 西。 如 學 謂 習 所田。 新人科病院内田。 如 學 謂 習 所

特别等贝

明治製巣質店の場合の

式自動品電

けふの天氣

光门規則部

席上挿話 一當 流代 争覇血戦譜 廿九日番組 放送 おンポコ航第 御馳走事ひ テキスト三九ページ 城)=京城球郷より中郷=
大瀬供野府閣)(第一放送・京
大瀬供野府閣)(第一放送・京 家庭防火に 朝鮮の土地改良事業に 番組 (釜山ローカル)朝鮮防空 貞智放送 同六時(東) 産活劇 価値が基だ多いので御座居野山には秋の土草を初とし (報達) | 図際運転で見吐 ・ 第一章 | 12世 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 刀給する男と 首される男 性的缺陷が原因 水で溶いて化粧自在の 二、分子が振かく主要える鳥の濃淡地に普通自然のをする提供とます。 影響を目标です。 サーワ固形日粉の特 清元園 京 坑 明 治 町 園話式局 1572:4037:3939 がき 三面・三面・山西・十四 **を**解消 み 各地楽店にあり 麻布。マニラロープ。絹紡細絲麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲 是其他工業用職品統合総統 帝 医医现象 特林元會 计製品 帝 医医现象 特林元會 计製品 中国 特拉斯林左會 计製品 製造定 翹鮓代現店 宗城本町 凼 籃木 京城府黄金町二丁目 「東城府黄金町二丁目 「東京城市東金町二丁目」 本 T 村 回 * * 樂 斯普京城 生 四五七番 居 堂 紅ロオリビバ表發新